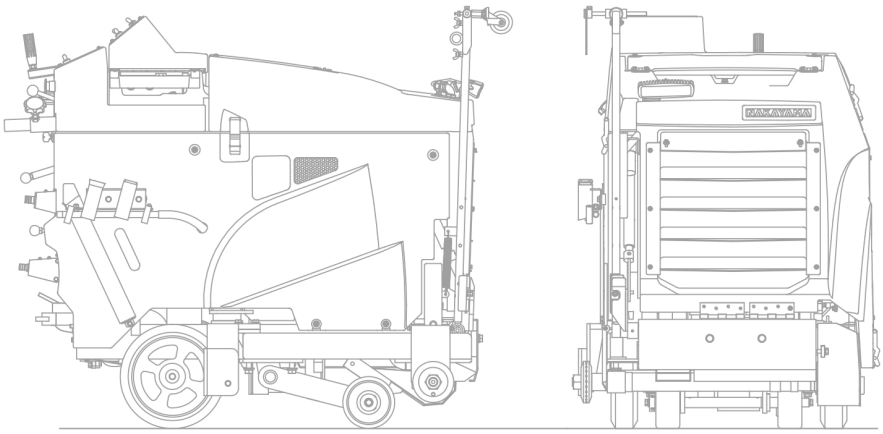
AZZ 6 SERIES

AZZ356 / AZZ406 / AZZⅡ506

取扱説明書



NAKAYAMA

初回発行日：2024.01
改　定　日：2025.01

■はじめに■

この度は、NAKAYAMAの製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

- ご使用する前に、この取扱説明書を**必ずお読みになり内容をご理解のうえ安全にご使用下さい。**
- お読みになった後は、紛失等されないよう大切に保管して下さい。
- 取扱説明書，パーツリスト，トラブルシューティングなど、資料を弊社ホームページでも公開しています。　是非ご利用下さい。

http://www.nakayama-azz.co.jp

※ 取扱説明書に記載されているイラストが、設計変更により実機と異なる場合があります。

■付属品一覧■

新車購入の時は、下記部品が付属します。

- 工具箱

• ドライバー	• ロープ　３．５ｍ （ガイド手動時は付属無し）
• オイルフィルターレンチ	
• プラグレンチ	
• テンショナーロッド	• パーツ表
• 片口スパナ　４１	• 取扱説明書
• メガネレンチ　２２×２４	• クボタエンジン取扱説明書
• メガネレンチ　１７×１９	• 予備ヒューズ　１０Ａ
• メガネレンチ　１０×１３	• 予備ヒューズ　３０Ａ
• 六角棒レンチ　２ｍｍ	• 予備ヒューズ　４５Ａ
• 六角棒レンチ　４ｍｍ	• 予備ヒューズ　６５Ａ
• 六角棒レンチ　５ｍｍ	• 超低騒音シール
• 六角棒レンチ　６ｍｍ	

＊ ご使用の前に、工具箱の中に付属品が全て揃っているかを確認して下さい。

目次

- はじめに
- 付属品一覧

1．　厳重注意事項　1

- 周囲への安全確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
- 引火・爆発の危険性　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
- 狭小地での操作　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
- チェンジレバー操作・推進力切り替え機構　・・・・・・・・・　2
- 排気ガス（一酸化炭素）中毒及び酸欠事故　・・・・・・・・・　2
- 機体の積み込み・積み下ろし作業　・・・・・・・・・・・・・　2
- 機体の吊り上げ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
- 保管及び稼働　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
- 機体の改造　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
- 機体の使用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
- 回転部の危険性　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

2．　保証規定　4

3．　各部名称　5

- メーターパネル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
- 機体　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

4．　警告灯　6

- チャージランプ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
- オイルランプ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
- MILランプ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

5．　機体操作　7

- ブレーキ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
- エンジンの始動と停止　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
- エンジン非常停止　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
- 前後進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
- 走行ON・OFF機構　＜オプション＞　・・・・・・・・・・・・　8
- シフトチェンジ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
- 昇降操作　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
- 横振り機構　＜AZZⅡ506 専用オプション＞　・・・・・・・・　9
- 推進力切り替え機構（切断リリーフバルブ）　・・・・・・・・　9
- バキューム装置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
- デフロック機構　＜オプション＞　・・・・・・・・・・・・・　10
- ブレードミッション（AZZ406，AZZⅡ506対象）　・・・・・　10

6． N-MOS（エヌ-モス）　＜オプション＞　11

- 名称　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 基本操作　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 表示内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

7． 作業前点検・整備　16

- 各部ベルト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- パーキングブレーキ　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 冷却水　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- エンジンオイル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- フューエル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- フューエルタンク水抜き　・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 給油　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

8． 積み込み・積み下ろし・運搬　21

- トラックへの積み込み　・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 運搬　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- トラックから積み下ろし　・・・・・・・・・・・・・・・ 21

9． 切断作業　22

- ブレードの取り付け　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- ブレードカバーを装着する　・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 切断ラインに合わせる　・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- ブレード冷却水の供給と切断汚泥の吸引・・・・・・・・・ 22
- 切断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 切断後・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

１０． 作業後点検・整備・清掃　24

- バキュームタンク，チューブホース　・・・・・・・・・・ 24
- ブロアー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ブレードカバー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ブレードシャフトねじ部　・・・・・・・・・・・・・・・ 24

１１． 定期点検　25

１２． ベルト交換　29

- エンジン～ブレードシャフト　・・・・・・・・・・・・・ 29
- カウンターシャフト～HST　・・・・・・・・・・・・・・ 29
- エンジン～カウンターシャフト　・・・・・・・・・・・・ 29
- エンジン～ラジエターファン　・・・・・・・・・・・・・ 30
- ブロアーベルト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 減速機～カウンターシャフト　・・・・・・・・・・・・・ 31

１３．　長期間使用しない場合　32

１４．　長期間放置してしまった時　32

１５．　トラブルシューティング　33

配線図
・AZZ 6シリーズ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35
・N-MOS（エヌ-モス）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36

切断周速表
・AZZ356　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37
・AZZ406　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　38
・AZZⅡ506　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39

仕様書
・AZZ356　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　41
・AZZ406　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　42
・AZZⅡ506　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　43

1．厳重注意事項

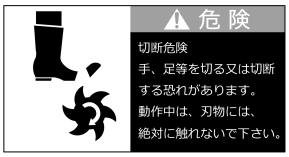
● 機体に貼り付けてある⚠表示のラベルは、警告表示です。必ずお守り下さい。

⚠危 険　・指示を守らないと、死亡又は重大な事故になる可能性が高い為、**禁止事項**。

⚠警 告　・指示を守らないと、死亡又は重大な事故になる可能性がある為、**守るべき事項**。

⚠注 意　・指示を守らないと、重大な事故になる可能性がある為、**注意事項**。

● 周囲への安全確保



「一般安全警告記号」

＊「一般安全警告記号」がブレードカバーに示されている事を確認して下さい。

● 引火・爆発の危険性

⚠危 険

＊ 給油作業は、換気の良い場所で車体を水平にしエンジンを停止してから行い、規定給油量以下での給油をお願いします。給油後はキャップを確実に締めて下さい。

＊ 燃料の取り扱いに注意して下さい。給油中は、タバコの火や静電気などで引火又は爆発する恐れがあります。

＊ 給油中にこぼれた燃料は、そのままにしないで下さい。こぼれた燃料はきれいに拭き取り、拭いた布は火災に注意して処分して下さい。

● 狭小地での操作

⚠危 険

＊ 壁際や狭小地で機体の操作や作業をすると、無意識に衣類や体が油圧昇降レバーに触れてしまう事があります。機体の前側が上がり挟まれる恐れがあります。壁際や狭小地では、機体の後ろに立たない等十分注意して下さい。（項目３．各部名称 ㉑）

● チェンジレバー操作・推進力切り替え機構

＊ チェンジレバーの操作は、ブレーキを掛け平坦な場所で行って下さい。勾配のある場所でチェンジレバーを操作すると、逸走する可能性があります。（項目３．各部名称 ㉖，㉙）

＊ 推進力切り替えレバーが、HIでもLOでも必ずブレーキを掛けて下さい。（項目３．各部名称㉙，㉜）

● 排気ガス（一酸化炭素）中毒及び酸欠事故

＊ トンネル内や室内など、閉鎖空間でエンジン式コンクリートカッターを使用すると一酸化炭素中毒や最悪、死亡する恐れがあります。
（暖機運転でも危険性は変わりません）

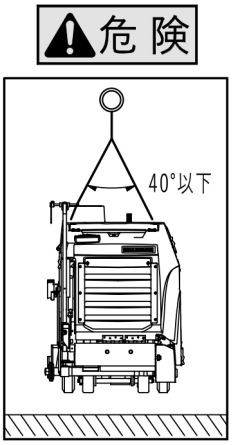
● 機体の積み込み・積み下ろし作業

＊ 機体の積み込み・積み下ろし作業は、ブレードカバー及びブレードを必ず外し平坦地で行って下さい。

＊ 機体の後ろ（操作盤側）に立って作業しないで下さい。ゲートのの上に機体がある時は、横から作業するようにして下さい。

＊ トラックのパワーゲートを昇降させる時は、必ず機体のエンジンを停止、ブレーキを掛け、チェンジレバーを切断レンジの状態で行って下さい。（項目３．各部名称 ㉖，㉙）

● 機体の吊り上げ



＊ 点検・整備で機体を吊り上げる際、ワイヤーロープの角度を40°以下にするようお願いします。不安定な吊り方や無理な吊り方をすると、機体の破損・重大な事故に繋がる可能性があります。

＊ 弊社指定のワイヤーロープもございます。

● 保管及び稼働

＊ 保管及び稼働は、第三者が接近しない場所を選んで行って下さい。

● 機体の改造

＊ 弊社に無断で改造をしないで下さい。それによる事故やトラブルに関して、弊社は一切責任を負いません。

● 機体の使用

＊ 体調が優れない時や、飲酒されている時は機体の使用をしないで下さい。

● 回転部の危険性

＊ 回転中のプーリーやベルト，シャフト等には、絶対に手を触れないで下さい。

＊ 切り替えペダルを左に倒した状態で、自走を行うと手動ハンドルが回ります。走行速度によっては体に当たった場合、重大な怪我をします。
（項目３．各部名称 ⑳，㉘）

２．保証規定

● 保証期間として、製品お渡し日より６ヶ月間とします。

● 弊社コンクリートカッター最初のご購入者に対し、品質上又は製造上の欠陥と確認できた場合、部品の交換及び修理を弊社負担とします。転売購入された製品は、保証対象外です。製品のボディカバー等、機能上問題の無い箇所についても同様とします。

● エンジン及び他社が製造する部品等の不具合が生じた場合、当該各製造メーカーの保証規定に従い、その範囲内においてのみ保証致します。

● 保証期間内であっても下記内容に該当する場合は、保証致しません。

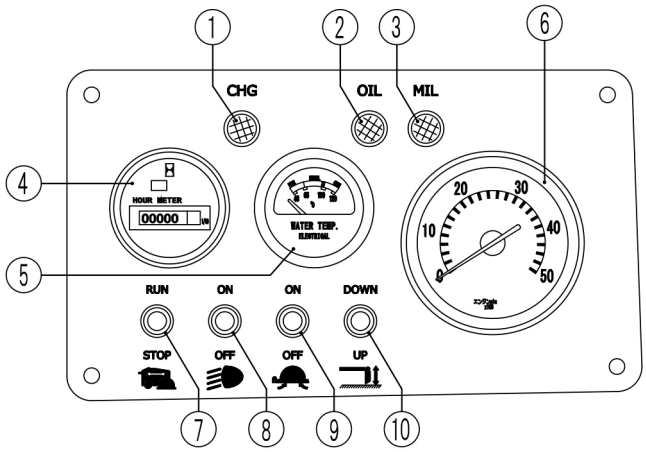
＊ ベアリング，ベルト，パッキン等の消耗品

＊ 弊社の了解なく改造等が加えられ、それにより生じた不具合

＊ 天災，過失等により生じた不具合

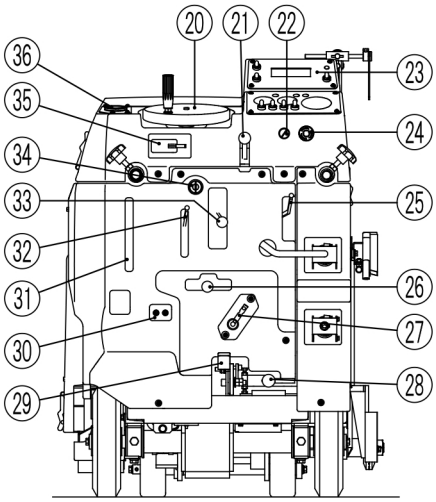
3．各部名称

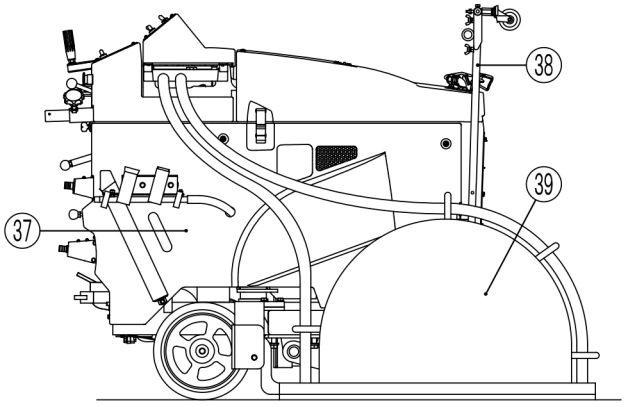
● メーターパネル



① チャージランプ
② オイルランプ
③ MILランプ
④ アワーメータ
⑤ 水温計
⑥ タコメータ
⑦ 走行ON-OFFスイッチ ＜**オプション**＞
⑧ ライトスイッチ
⑨ バキュームスイッチ
⑩ ゲージスイッチ

● 機 体





⑳ 手動走行ハンドル
㉑ 油圧昇降レバー
㉒ スロットルボリューム
㉓ N-ＭＯＳ ＜**オプション**＞
㉔ エンジン非常停止スイッチ
㉕ 前車輪/横振り機構切り替えレバー
　＜**AZZ II 506　オプション**＞
㉖ チェンジレバー
㉗ デフロックレバー ＜**オプション**＞
㉘ 切り替えペダル
㉙ パーキングブレーキ
㉚ グルスアップ集中配管 ＜**オプション**＞
㉛ フューエルレベルゲージ
㉜ 推進力切り替えレバー
㉝ 前後進スピードレバー
㉞ イグニッションキー
㉟ メインスイッチ
㊱ フューエルメーター ＜**オプション**＞
㊲ ポンプユニット（ボディーカバー内）
㊳ ゲージ
㊴ ブレードカバー

４．警告灯

● 警告灯は、エンジンに不具合が生じた時に点灯します。正常の時は、イグニッションＯＮで１度点灯しエンジン動作中は消灯します。

● 警告灯での異常箇所や不具合の特定はできません。警告灯点灯時の状況や機体の状態に応じて、適切な整備をお願いします。

● **チャージランプ（ＣＨＧ　赤）**

＊ 発電電圧の低下時に点灯する。

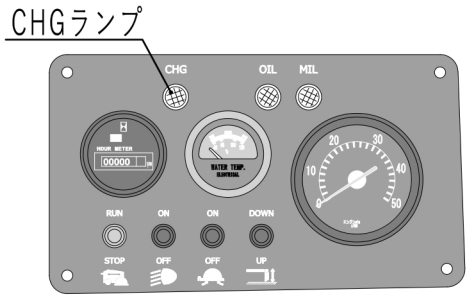
＊ こんな時に点灯

例）・バッテリー電圧低下

・ダイナモベルトの緩み

・配線，リレーの不具合

etc



● **オイルランプ（ＯＩＬ　赤）**

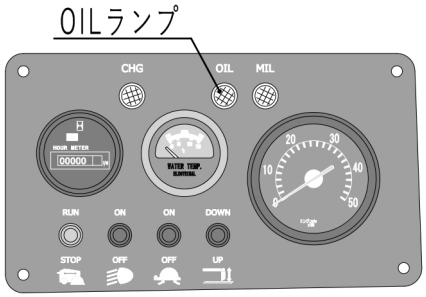
＊ エンジンオイルの圧力低下時に点灯する。

＊ こんな時に点灯

例）・エンジンオイル量の不足

・オイルフィルターの詰まり

etc



● **ＭＩＬランプ（ＭＩＬ　緑）**

＊ エンジンの異常が発生した場合に点灯する。

＊ こんな時に点灯

例）・吸気圧の異常

・燃料圧力の異常（ガス欠等）

・エンジン冷却水の異常

etc

＊ **ＭＩＬランプ消灯**

整備後、エンジンが正常な状態であればバッテリーのマイナス端子を外し再度取り付ける。これによりＭＩＬランプは消灯します。

5．機体操作

● **機体を操作する時は、周囲の安全を確認して操作して下さい。**

● **ブレーキ**

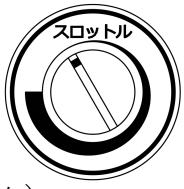
＊ ㉙パーキングブレーキのペダル部を下方に踏み込めばブレーキが効き、上げれば解除されます。

＊ ブレーキが効いた状態で走行すると、走行装置が損傷する場合があります。

＊ 機体の停車時又は機体から人が離れる場合は、㉖チェンジレバーを切断レンジに入れ必ずブレーキを掛けて下さい。

● **エンジンの始動と停止**

＊ エンジンの始動



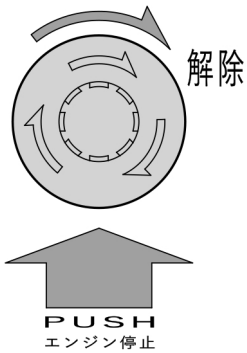
・ ㉙パーキングブレーキを掛ける
・ ㉝前後進スピードレバーを中立位置にする
・ ㉒スロットルボリュームをアイドリング位置にする
（アイドリング位置にしていないと、エンジンは掛かりません）
・ 周囲の安全確認（可動，回転部の接触防止，換気など）
・ ㉞イグニッションキーを回し、エンジン始動

＊ エンジンの停止

・ ㉝前後進スピードレバーを中立位置にする
・ ㉒スロットルボリュームでエンジン回転をアイドリング状態にする
・ ㉙パーキングブレーキを掛ける
・ ㉞イグニッションキーを回し、エンジン停止
（ オペレーターが機体から離れる時は、㉕チェンジレバーを切断レンジにし㉟メインスイッチをOFF，㉞イグニッションキーからキーを抜く）

● **エンジン非常停止**

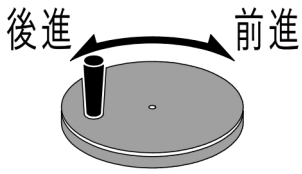
＊ 事故発生の恐れがある場合などに、㉔エンジン非常停止スイッチを押せばエンジンが停止します。スイッチを右に回すと、ロックが解除されエンジンの再始動ができます。



● 前後進

手動走行

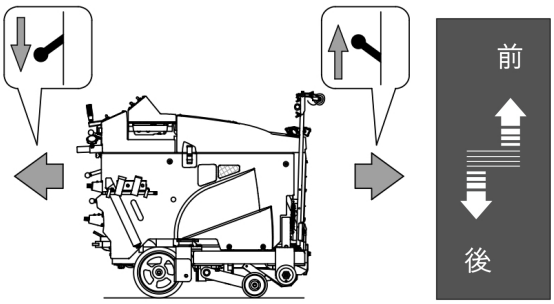
＊ ㉖チェンジレバーを手動レンジにし、㉘切り替えペダルを左側に倒し、⑳手動ハンドルを右回しで前進、左回しで後進します。



自走

＊ ㉖チェンジレバーを切断又は廻送レンジにし、㉝前後進スピードレバーを上げて前進、下げて後進します。レバーを倒す角度でスピード調節ができます。

＊ ㉘切り替えペダルを左側に倒した状態で自走を行うと、⑳手動ハンドルが回ります。走行速度によっては大変危険です。



● 走行ON・OFF機構　＜オプション＞

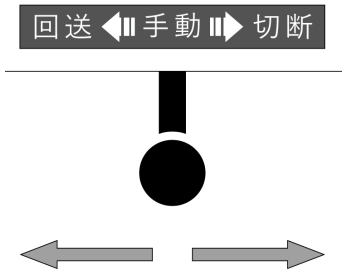
＊ ⑦走行ON・OFFスイッチ操作で、㉝前後進スピードレバーの位置に関係なく機体を走行・停止させる事ができます。

● シフトチェンジ

＊ シフトチェンジは、㉝前後進スピードレバーを中立位置にし、車体の走行を停止して行って下さい。

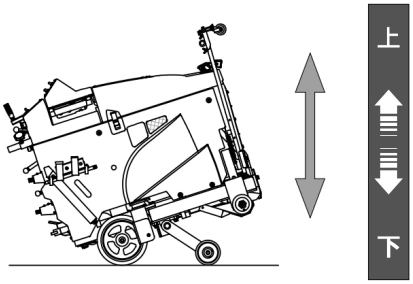
＊ シフトチェンジは、㉙パーキングブレーキを効かせて車体が動き出さないよう十分に注意して下さい。

＊ ㉖チェンジレバーを使用するレンジ（廻送／手動／切断）に合わせて下さい。



● 昇降操作

＊ ㉑油圧昇降レバーの操作で機体前側を上下させる。レバーを上に動かすと上がり、レバーを下に動かすと下がります。



● 横振り機構　＜AZZⅡ506専用 オプション＞

＊ ㉕前車輪／横振り機構切り替えレバーを下側にして、㉑油圧昇降レバーを上に動かすと横振りキャスターがセットされ、㉑油圧昇降レバーを下に動かせば横振りキャスターが格納されます。

＊ ㉕前車輪／横振り機構切り替えレバーを上側にして、㉑油圧昇降レバーの操作で機体前側の昇降になります。

● 推進力切り替え機構（切断リリーフバルブ）

＊ ㉖チェンジレバーが切断レンジで機体が前進の時に、㉜推進力切り替えレバーの操作により、走行推進力を抑制し機体のコントロール性の向上及びブレードへの過大な負荷を軽減します。

＊ Loレンジでの廻送走行は、Hiレンジのようなスピードが出ません。Loレンジの作業後は、Hiレンジに切り替えて下さい。

・ Hiレンジの主な作業
小口径ブレード（浅い），枡切りなど短距離で頻繁な移動，登り坂など推進力を要する場合

・ Loレンジの主な作業
大口径ブレード（深い），鉄筋入りなど推進力を抑えたい場合

● バキューム装置

＊ ⑨バキュームスイッチ操作で、切断作業により出た汚泥を㊲ポンプユニットで吸引・排出を行います。

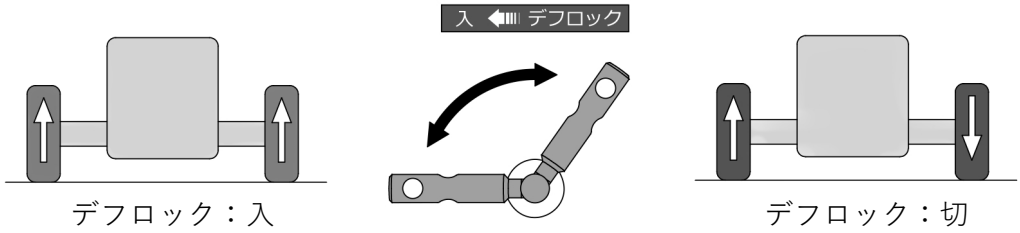
＊ ⑨バキュームスイッチの操作は、エンジン回転数をアイドリング状態にして行って下さい。エンジン回転数が高い状態でスイッチをONにすると、ベルトに負荷が掛かる為ベルトのスリップや摩耗、切れる場合があります。

● デフロック機構　＜オプション＞

＊ ㉗デフロックレバーの操作で、後車輪の動きを一時的に制御する機構です。

＊ 左右の車輪の駆動状態に関係なく、常に同じ回転速度で双方の車輪を回転させ続けるため、片輪が浮いた状態や滑りやすい路面でも駆動力を伝え進行が可能になります。

＊ 機体の旋回など左右の車輪の回転差動を要する場合は、解除して下さい。



デフロック：入
車輪の回転速度，方向が同じ

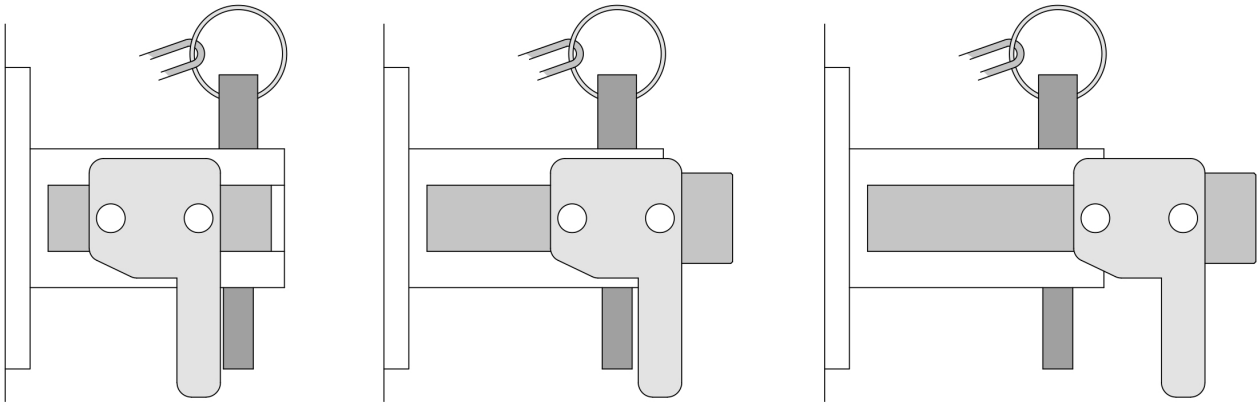
デフロック：切
左右逆方向に回転する事ができる

● ブレードミッション（AZZ406，AZZ II 506対象）

＊ シフトレバーの操作（位置）により、ブレード軸の回転速度を切り替える事ができます。

＊ シフトレバーの操作は、エンジンを停止して行って下さい。

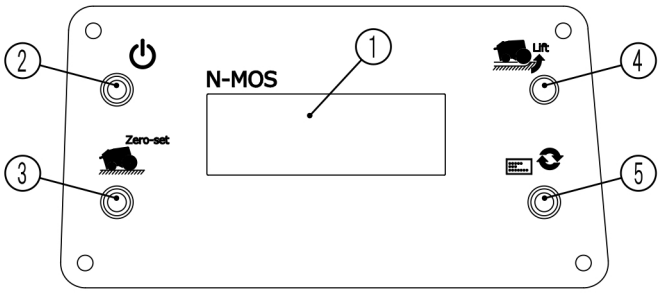
＊ シフトレバーは、必ずシフトロックピンで固定して下さい。



L：低速　　N：ニュートラル　　H：高速

6．N-MOS（エヌ-モス）　＜オプション＞

● 名称



① ディスプレイ
② 電源スイッチ
③ 切り込み深さゼロ点セットスイッチ
④ 浮き警告灯
⑤ 表示切り替えスイッチ

● 基本操作

＊ 電源スイッチ

・ メインスイッチ（項目３．各部名称㉟）がONの状態で、②電源スイッチを「上」に倒すと電源が入ります。「下」に倒すと電源が切れます。

・ ②電源スイッチは以下の手順で操作して下さい。
　・ONの操作：メインスイッチON　→　電源スイッチON
　・OFFの操作：電源スイッチOFF　→　メインスイッチOFF

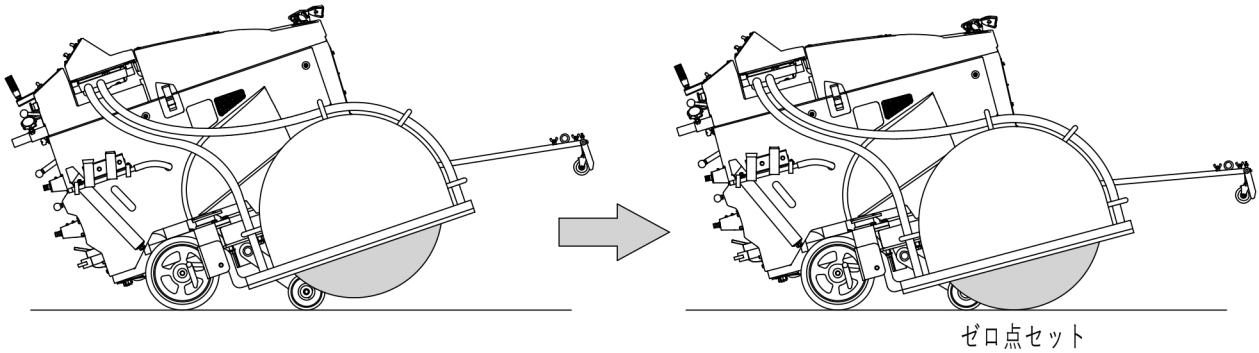
注）<u>エンジンを始動する前にN-MOSの電源をONにして下さい。エンジン始動後にN-MOSの電源をONにすると、エンジン情報（エンジン負荷率，燃料消費率）が表示されなくなりますので、ご注意ください。</u>

＊ N-MOSの再起動

・ N-MOSを再起動させる時は、電源スイッチをOFFにし５秒以上あいだを空け再度電源スイッチをONにして再起動します。電源スイッチのON・OFFを素早く行なうと、①ディスプレイの表示文字が正しく表示されません。

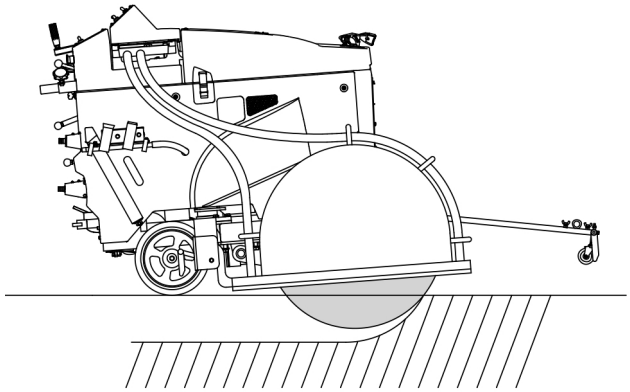
＊ 切り込み深さゼロ点セットスイッチ

- 機体にブレードを取り付け、エンジンが停止した状態でブレードを地面に接地させます。③切り込み深さゼロ点セットスイッチを上に倒す事でゼロ点セット完了。
- ディスプレイの「フカサ」が、０（ゼロ）になっている事を確認して下さい。
- ゼロ点をセットする時、昇降レバーを下へ大きく動かすと機体が勢いよく下降します。ブレードの破損に繋がりますので、ゆっくりと慎重な操作をお願いします。



＊ 浮き警告灯

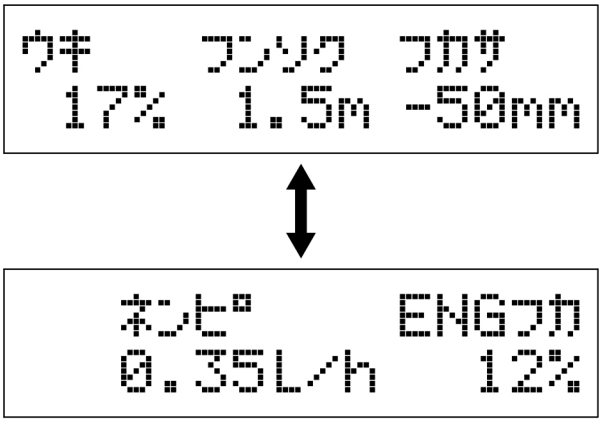
- 切断中にブレードの浮き上がりがある時に、しきい値を超えると点灯します。



＊ **表示切り替えスイッチ**

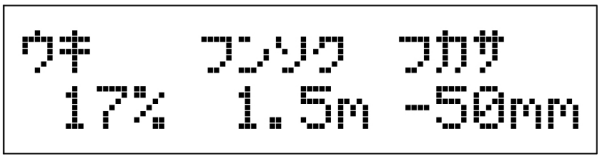
・ ⑤表示切り替えスイッチを上に倒す度に、「浮き指標・走行速度・切り込み深さ」と「燃料消費率・エンジン負荷率」の画面に切り替わります。

・ ⑤表示切り替えスイッチを下に倒しても、表示の切り替えはできません。

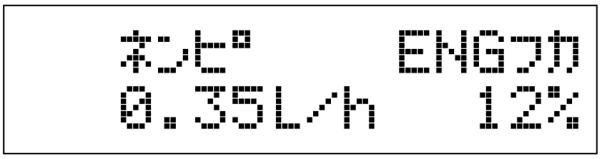


● 表示内容

＊ 浮き指標，走行速度，切り込み深さ，燃料消費率，エンジン負荷率を表示します。



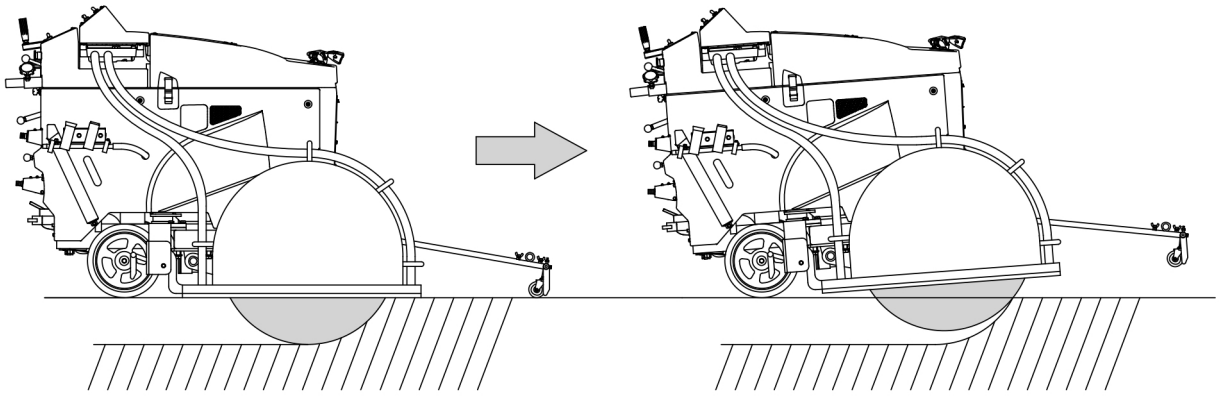
浮き指標　走行速度　切り込み深さ



燃料消費率　エンジン負荷率

＊ 浮き指標（ウキ）

- 切断中にブレードの浮き上がりを0%～100%で表示。
  （数値が100%に近づくほど、浮いた状態になります。）
- 路面の凹凸や傾斜では、精度が下がります。



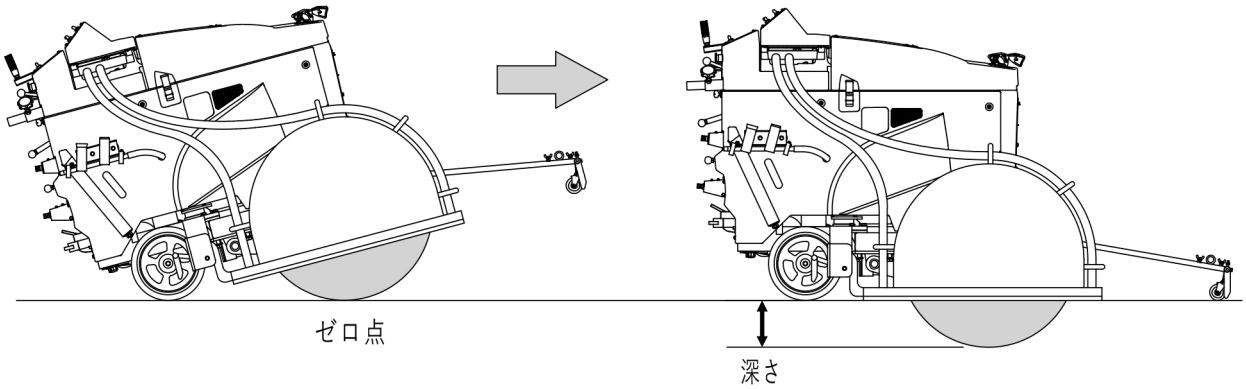
＊ 走行速度（フンソク）

- 走行用トランスミッションの回転速度を、走行速度に換算しています。
- 前進・後進どちらも正の値で表示されます。
- 後車輪の摩耗や走行中に後車輪のスリップがあると、正確な速度計測ができません。

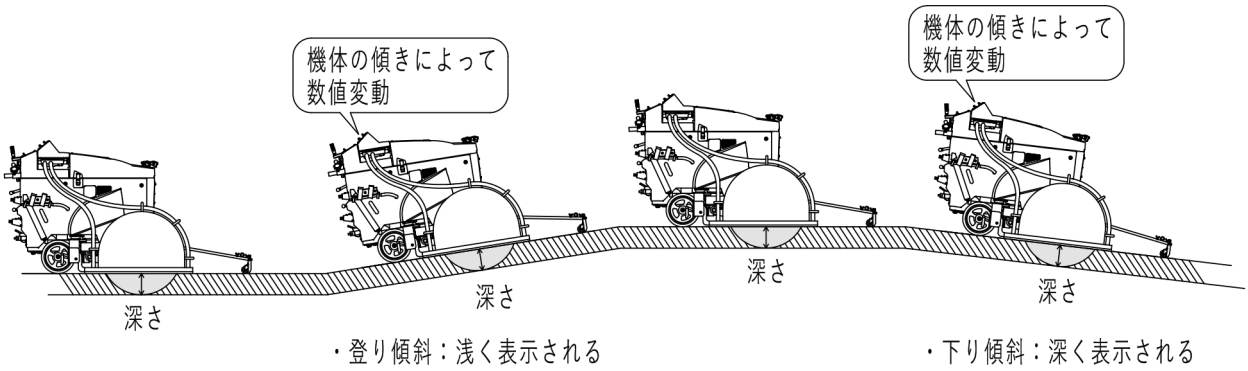
＊ **切り込み深さ（フカサ）**

・ 設定したゼロ点からの機体の傾き角度を、切り込み深さに換算しています。

・ 切り込んだ深さは、マイナス値で表示されます。



・ 路面の凹凸や傾斜の変化により、実際の切り込み深さに変動がなくても数値が変動する事があります。



＊ **燃料消費率（ネンピ）**

・ エンジンECUから取得した、瞬間的な燃料消費量。

＊ **エンジン負荷率（ENGフカ）**

・ エンジンECUから取得した、最大トルクに対する現在のトルク率。

7．作業前点検・整備

● 機体の始動前に、必ず点検，整備を行って下さい。

● 点検・整備を行う時は、機体及びエンジンが冷めている状態で安全が確保されている事を確認して行って下さい。

● 機体に異常がある場合は、速やかに整備を行って下さい。

＊ 各部ベルト

・ 緩みや摩耗、亀裂がないか確認。ベルトを指で押して10ｍｍほど沈む程度の張りにする。ベルトの張り過ぎに注意して下さい。

＊ パーキングブレーキ

・ ブレーキが正常に効き、解除されるか確認。

＊ 冷却水

・ ラジエターやサブタンク内の冷却水が適量入っているか確認。

・ ホースやドレンから漏れがないか確認。

＊ エンジンオイル

・ エンジンオイルが適量入っているか確認。

・ エンジンオイルが汚れていないか確認。

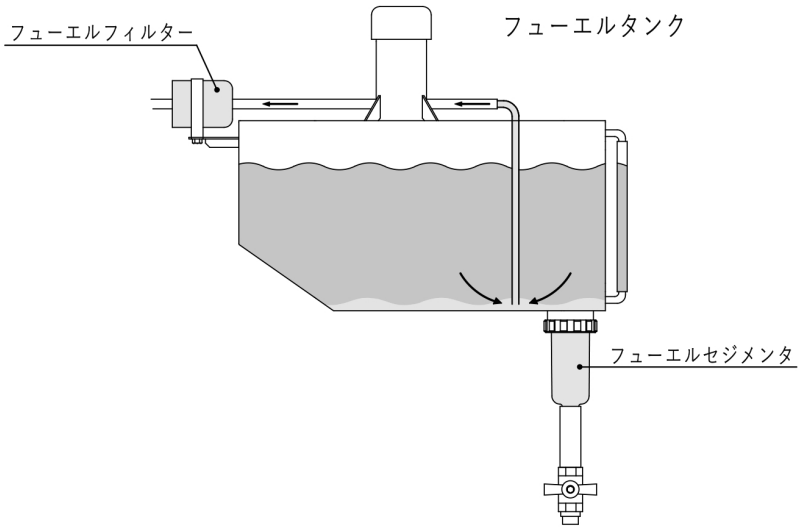
＊ フューエル

・ ガソリンが入っているか確認。

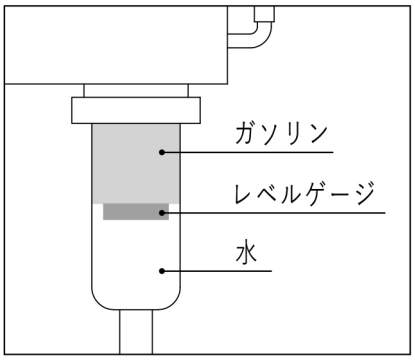
・ フューエルタンク下にフューエルセジメンタ（水抜きタンク）があります。タンク内に水が溜まると、レベルゲージ（赤いリング）が浮いてきます。水が溜まっている事が確認できたら、フューエルセジメンタ下にあるコックより水を排出して下さい。

● フューエルタンク水抜き

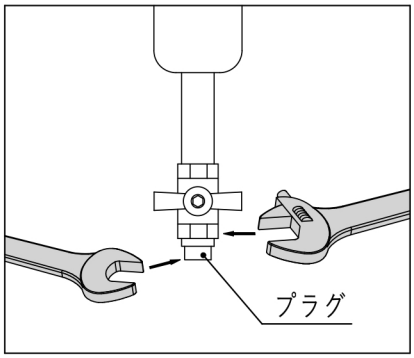
＊ タンク内に水が溜まると、その水を燃料ポンプが吸い上げてしまいエンジントラブルに繋がる可能性があります。



● 水抜き手順

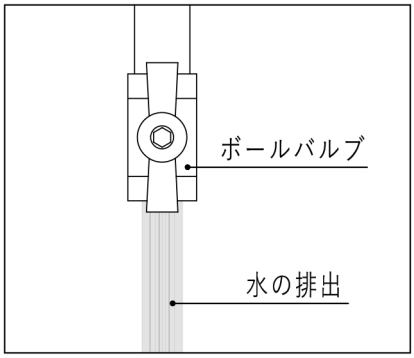


① フューエルセジメンタに水が溜まると、中にあるレベルゲージが浮いてきます。水が溜まっている事が確認できたら水抜き作業を行って下さい。



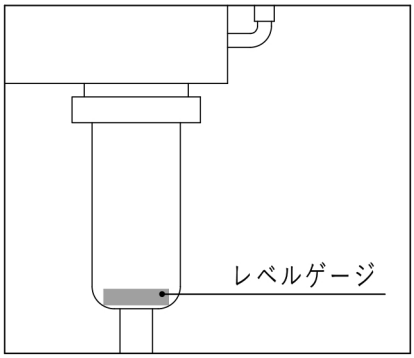
② フューエルセジメンタ下にあるプラグを外します。この時、ホースやフューエルセジメンタに負荷を掛けないように、モンキー，スパナ等で供回りを防いで下さい。

ボールバルブ：対角２５
プラグ　　：対角１４



③ 受け皿を用意し、ボールバルブのコックを開きます。

④ フューエルセジメンタに溜まっている水の量を確認しながら、水を排出します。



⑤ 水を排出しきった事を確認します。

⑥ ボールバルブのコックを閉め、プラグを取り付けて作業終了です。

● 給油

＊ フューエルタンクへの給油について（ガソリン漏れ予防）

- 給油の時は、エンジンを停止しメインスイッチOFFにして行って下さい。
- **規定給油量は 13.4 リットル**（サクションパイプ底～給油限位置）です。
  規定給油量以上の給油は、機体が傾斜した時に溢れる可能性があります。規定給油量以上給油しないで下さい。
- 機体を水平状態にして給油を始めて下さい。
- 満量計ゲージの**赤印**が給油口上部に達した時点で給油を停止して下さい。
- 給油後、レベル計の赤玉が**給油限界位置**以下であるかを確認して下さい。
  （使用条件により、給油限界位置は更に低くして下さい）
- 給油口キャップは確実にしめて下さい。

● 補助機器

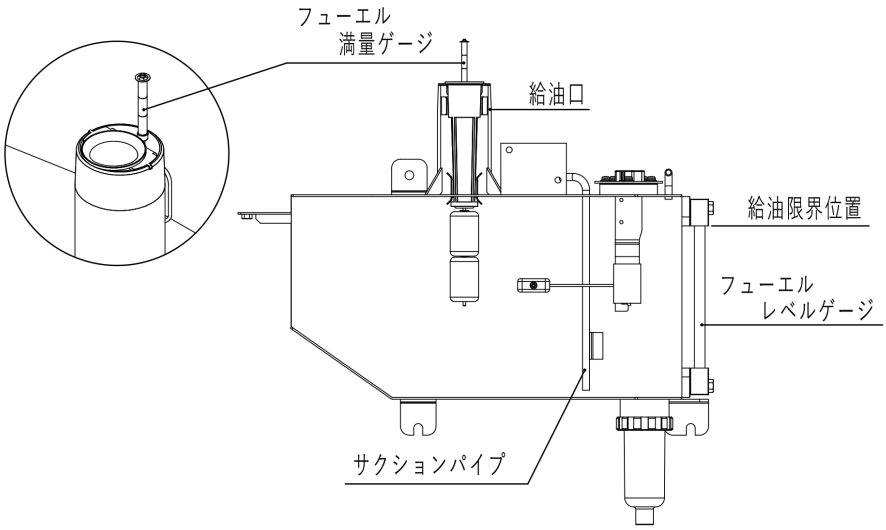
＊ フューエルタンクには、以下の補助機器が装着されています
（いずれも 車体水平状態にて 正しく機能します）

＊ **フューエル満量ゲージ**

- 先端に印（青・黄・赤）が付いている棒が浮き沈みし、給油時において給油量状態の目安になります。傾斜地または車体が傾斜した状態では、作動しない場合がありますのでご注意下さい。

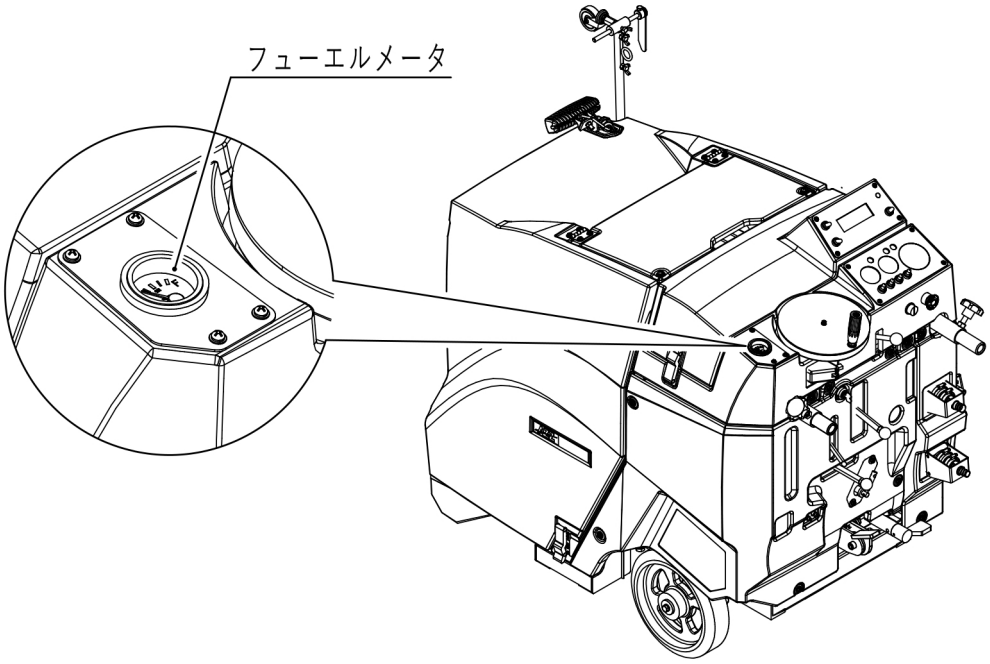
＊ **フューエルレベルゲージ**

- 透明チューブの中に赤玉が浮いており、残量状態を車体後方より確認できます。



＊ **フューエルメータ　＜オプション＞**

- 給油時は、フューエルメータは作動しません。
- 給油後、メインスイッチ ONにしイグニッションONで動き出します。



８．積み込み・積み下ろし・運搬

● **パワーゲートに不具合がある場合は、機体の落下や重大な事故になる恐れがあります。**
日常からパワーゲートの点検・整備をお願いします。

● **トラックへの積み込み**

＊ 積み込み作業は、必ず平坦地で行って下さい。

＊ ブレードカバー及びブレードは、機体から必ず外して積み込んで下さい。

＊ パワーゲートに機体を載せゲートを昇降させる時は、必ず

- **ブレーキを掛ける**
- **エンジンを停止する**
- **チェンジレバーを切断レンジに入れる**

上記の状態でパワーゲートの操作をして下さい。

＊ 荷台に積載後、チェンジレバーを切断レンジにしブレーキを掛けロープ等でしっかりと固定して下さい。

● **運搬**

＊ 急発進，急ブレーキ，急ハンドル等しないよう、安全運転に心掛けて下さい。

● **トラックから積み下ろし**

＊ パワーゲートの端部に、落下防止のストッパーなどを設けて下さい。

＊ 手動走行での移動はしないで下さい。

■ **積み込み・積み下ろしの際ゲートの上に機体がある時、機体の後ろに立って機体操作をしないで下さい。重大な事故になる可能性があります。**
機体落下の危険を感じたら直ぐに逃げて下さい。

９．切断作業

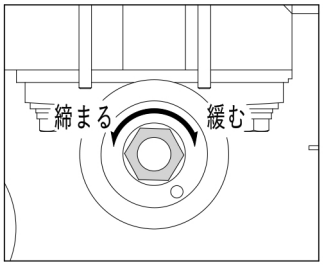
● ブレードの取り付け

＊ コンクリートカッター用に設計された、ブレードをお使い下さい。

＊ クラックやチップ飛び等、破損したブレードは使用しないで下さい。

＊ フランジナットはＭ２７（対角４１）左ねじになります。

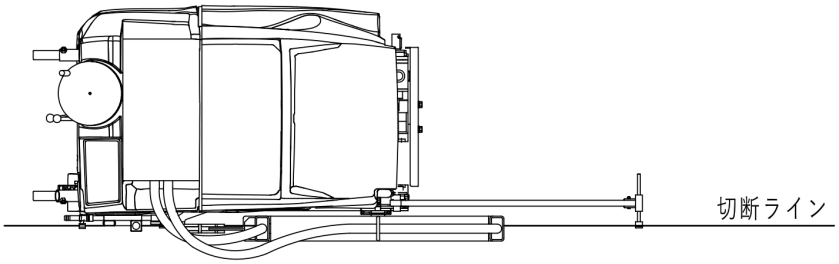
＊ フランジナットは、付属部品のスパナとテンショナーロッドで締め付ける。
（ 締め付けの際、手や指を叩かないよう注意して下さい。）

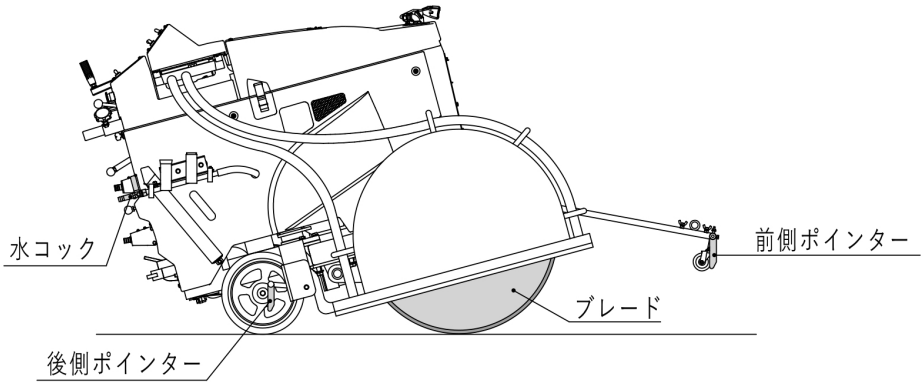


● ブレードカバーを装着する

● 切断ラインに合わせる

＊ ゲージを前に出し、前側のポインター，ブレード，後側のポインターの位置を切断ラインに合わせる。





● ブレード冷却水の供給と切断汚泥の吸引

＊ 機体に給水ホースと排水ホースを繋ぎ、水タンク側と機体の水コックを開きブレード側から水が出るのを確認。

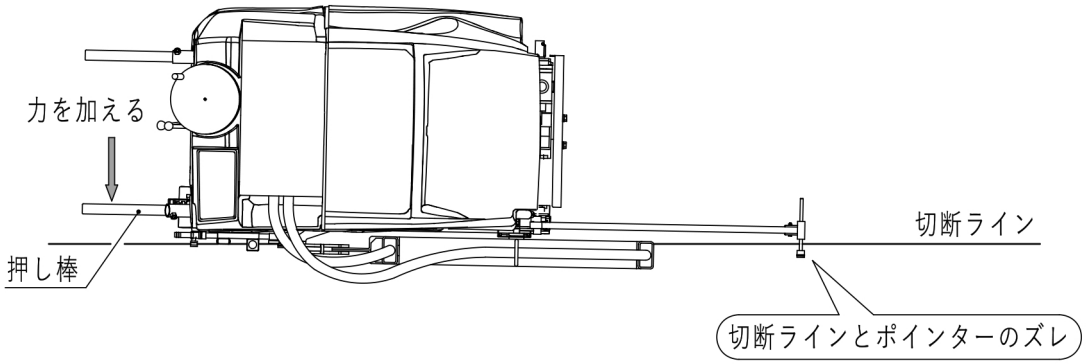
＊ エンジンを始動し、エンジン回転数をアイドリング状態でバキュームスイッチを入れる。

● 切断

＊ ボリュームの操作でエンジン回転数を適性の周速にし、昇降レバー操作でゆっくりとブレードを下ろしていく。

＊ 前後進スピードレバーの操作で切断開始。切断速度が速過ぎ、過度の押し過ぎがあるとブレードの破損やブレードが切断ラインから外れ、真っすぐ切断できない可能性があります。

＊ 切断中、切断ラインとポインターにズレが生じた場合、押し棒に力を加えズレの修正をして下さい。



● 切断後

＊ 切断終了後、前後進スピードレバーを中立位置にし、昇降レバー操作でゆっくりとブレードを上げる。

＊ エンジン回転数をアイドリング状態にし、バキュームスイッチを切り水コックを閉める。

＊ エンジンを停止し、ブレードカバー及びブレードを外す。
（ 機体及びブレード等熱くなっています。十分注意して下さい。）

１０．作業後点検・整備・清掃

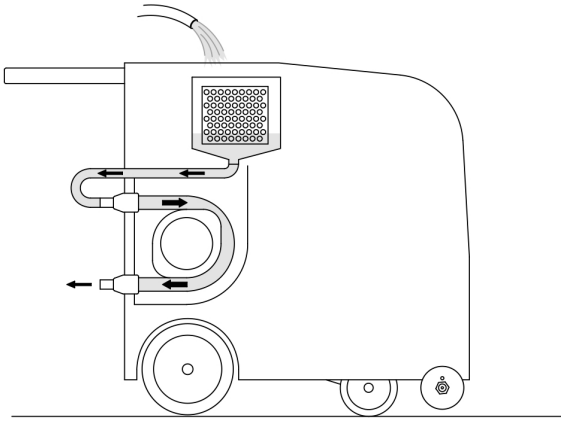
● バキュームタンク，チューブホース

＊ 作業後に、ブレーキを掛けエンジンを始動、バキュームスイッチONの状態で

- バキュームタンク内
- 砂利かご
- チューブホース内
- 排水ホース内

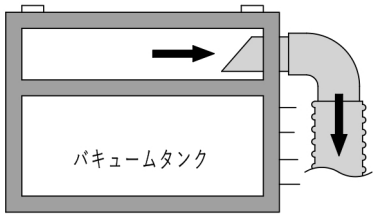
を清水で洗って下さい。

＊ 付着，滞留している汚泥が固着する前に洗い流し、チューブホース内の水をなるべく排出させて下さい。



● ブロアー

＊ 作業後にエンジン回転数をアイドリング状態で、バキュームタンクのブロアー吸入口に清水を流しブロアー内及び、ダクトホース内を洗浄して下さい。

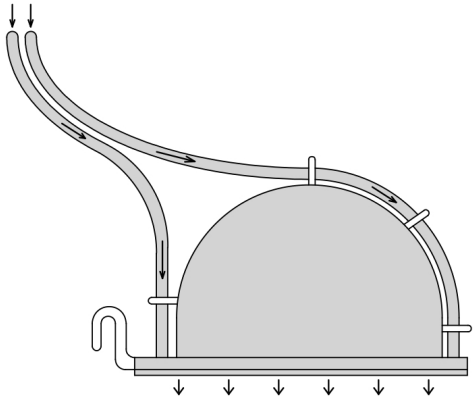


● ブレードカバー

＊ 作業後に

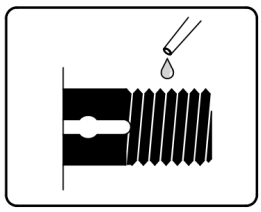
- ブレードカバー内側
- 底面
- バキュームホース内
- 汚泥通路内

に付着，滞留している汚泥を固着する前に洗い流して下さい。



● ブレードシャフトねじ部

＊ 泥や埃がネジ山に付いた状態でナットを締め付けると、オネジとメネジの噛みこみやネジ山が摩耗してしまいます。作業前，作業後にねじ部への注油、３日に１度ワイヤーブラシ等で洗浄して下さい。



１１．定期点検

● より良く安全にご使用して頂くため、定期的に点検，整備を実施して下さい。

ガソリン	フューエルタンク水抜き フューエルタンク下フューエルセジメンタで確認
オイルフィルター	交換目安：２ヶ月又は、１００時間　毎
エアーエレメント	清　掃　：１ヶ月又は、５０時間　毎 交換目安：６ヶ月又は、３００時間　毎
ブレードミッションオイル （AZZ406，AZZⅡ506）	交換目安：初回５０時間　以降６ヶ月又は、３００時間　毎 種　類　：マルチギヤオイル ＳＡＥ８０W-９０ 耐熱用　相当品 油　量　：１ℓ
走行ミッション	種　類　：マルチギヤオイル　８０W-９０ 耐熱用　相当品 油　量　：２ℓ
ＨＳＴ	種　類　：エンジンオイル　ＳＥ１０W-３０　相当品 油　量　：３５０mℓ ＊オイル交換時は、エアー抜き作業もお願いします。
油圧パッケージ	種　類　：ハイドロオイル　ＩＳＯ３２　相当品 油　量　：８００mℓ
ポンプユニット	種　類　：ＮＡＫＡＹＡＭＡ純正オイル 油　量　：５００mℓ ＊ポンプオイルは、水溶性です。廃棄される場合は、各地域のルールに沿って廃棄して下さい。
パーキングブレーキ	不具合がある場合は、直ぐに整備を行って下さい。
油圧ホース 電装線	交換目安：５年を目安に交換をお勧めします。 ＊樹脂部分の経年，温度，湿度，摩擦などによる変質や破損の可能性があります。

エンジンマウント	交換目安：５００時間又は、１年　毎 ＊機体の振動が大きい場合は、交換して下さい。

● エンジンマウントは、機体に伝わるエンジンの振動を抑える部品です。
経年劣化やベルトの張り具合により、消耗期間が異なります。

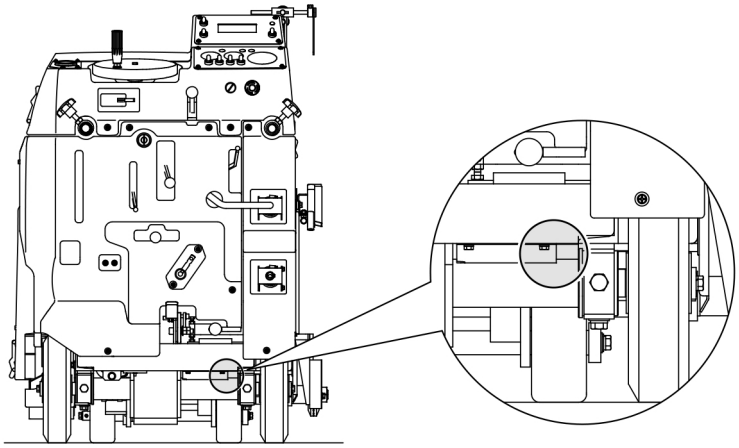
● エンジン～ブレードシャフトのベルトの張り過ぎに注意して下さい。
ベルトの張り過ぎによりエンジン左側が前に引っ張られ、エンジン
マウントの消耗が激しくなるほか、ベルトの通りがずれてベルトの
消耗も激しくなります。

● **エンジンマウントの交換を怠ると、エンジンの振動が機体に伝わりやすくなり、各部品の損傷に繋がります。**

エンジンオイル	交換目安：初回１０時間　以降５０時間　毎 種　類　：エンジンオイル　１０W-３０　相当品 油　量　：５ℓ（フィルター同時交換時　5.2ℓ）

● **エンジンオイル交換**

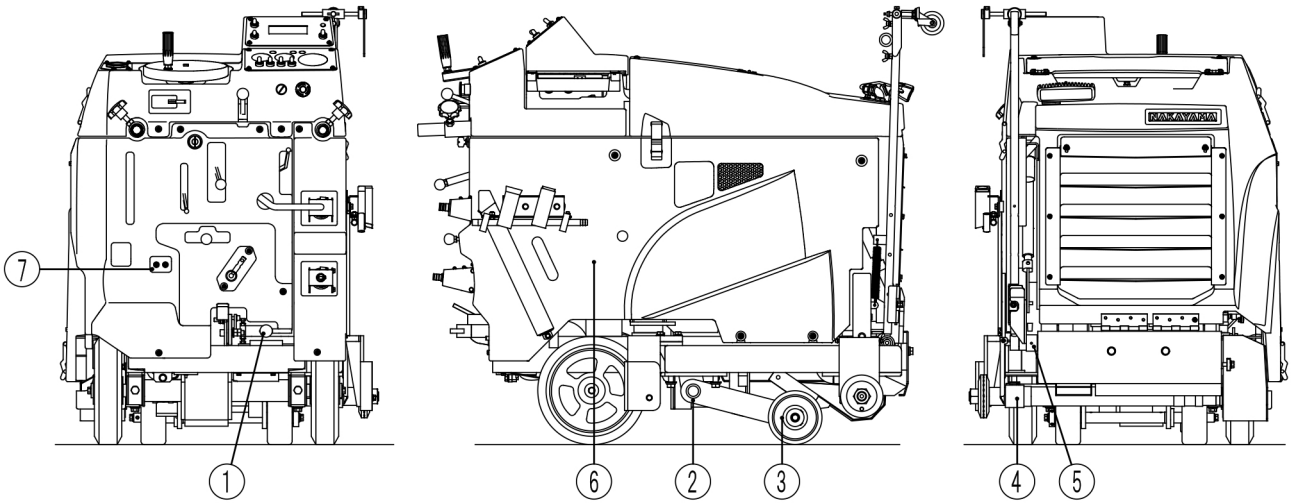
＊ 機体後方右下、ギヤ保護カバーにドレンホースが格納してあります。
廃油を入れる容器を用意し、ドレンホースよりエンジンオイルを抜いて下さい。



＊ エンジンオイルを入れる時は、機体を水平にして溢さないようゆっくり入れて下さい。

グリスアップ	ブレードシャフトピロー　３０時間　毎 前車輪アームピロー　２００時間　毎 カウンターシャフトピロー，前車輪　１００時間　毎 ＊はみ出てきたグリスは、綺麗に拭き取って下さい。

● **グリスアップ箇所**



① 切り替えペダル

② 前車輪アームピローブロック　２ヶ所

③ 前車輪（２ヶ所）

④ ブレードシャフトピローブロック　２ヶ所

⑤ ガイドアーム

⑥ カウンターシャフトピローブロック　２ヶ所
　＊ 機体内部
　＊ FRPリアカバーを外す

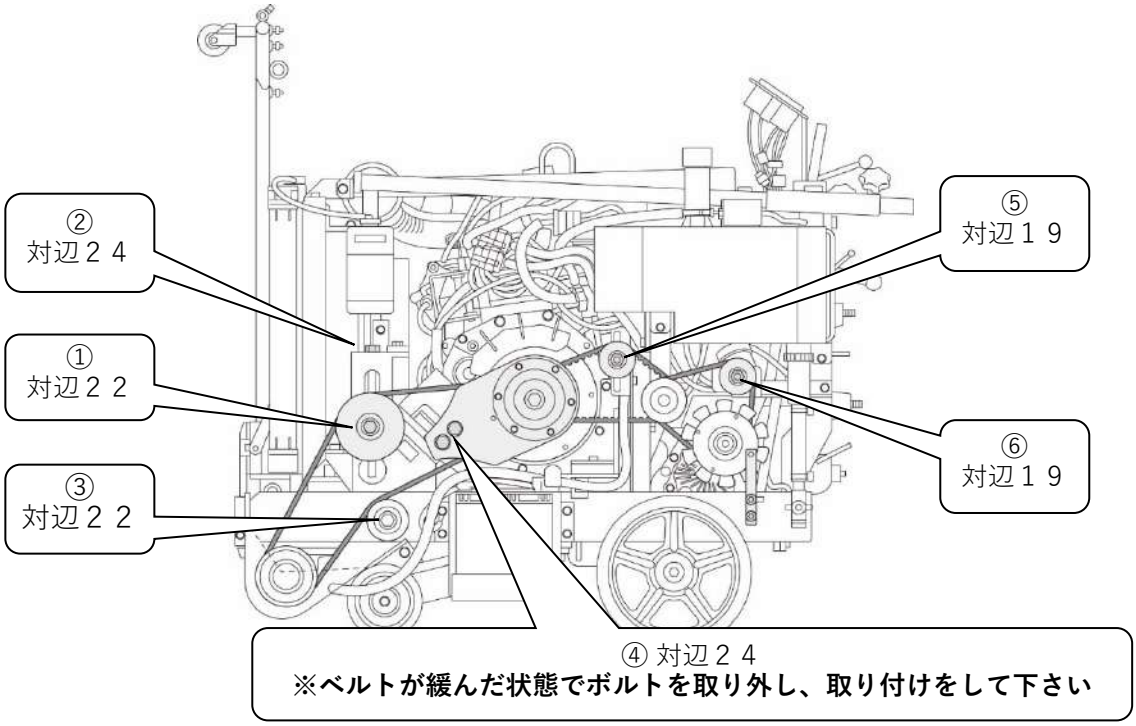
⑦ グリスアップ集中配管 ＜オプション＞
　＊ グリスアップ集中配管が付いている機体は、カウンターシャフトピローブロックへのグリスアップは、ここから行います。

１２．ベルト交換

● **バッテリーのマイナス端子を外して**、作業を実施して下さい。

● ベアリングケースホルダーのボルト④は、**エンジンプーリーに掛かっているベルトを**

緩めてから外す　**張る前に固定する**　　**手順を厳守して下さい。**



● **エンジン～ブレードシャフト**

１．ＦＲＰボンネットカバーを開け、ベルトカバーを外す

２．①，②のボルトを緩め、テンションプーリーを下にスライドさせる

３．③のボルトを外し、メインテンションヒラプーリーを外す

● **カウンターシャフト～HST**

１．ＦＲＰリアカバーを外す

２．⑥のナットを緩めて、テンションプーリーをスライドさせる

３．オプションでＨＳＴ電磁クラッチが付いている場合は、クラッチの配線端子と廻り止め金具を外す

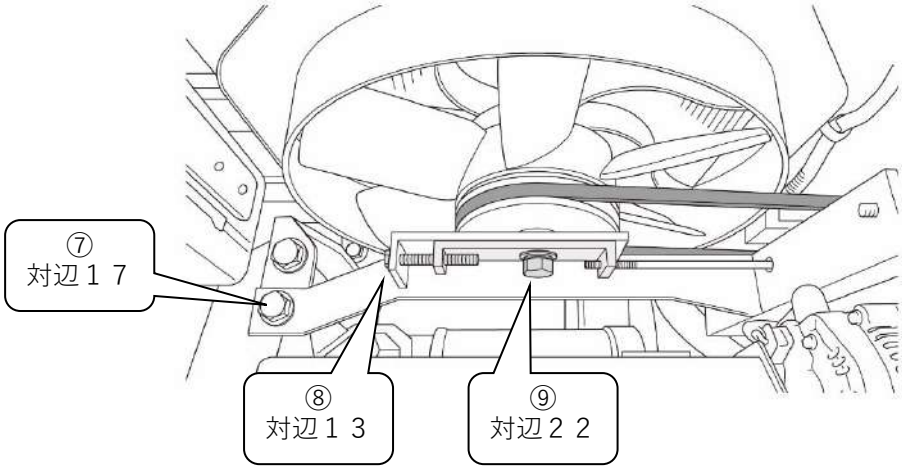
● **エンジン～カウンターシャフト**

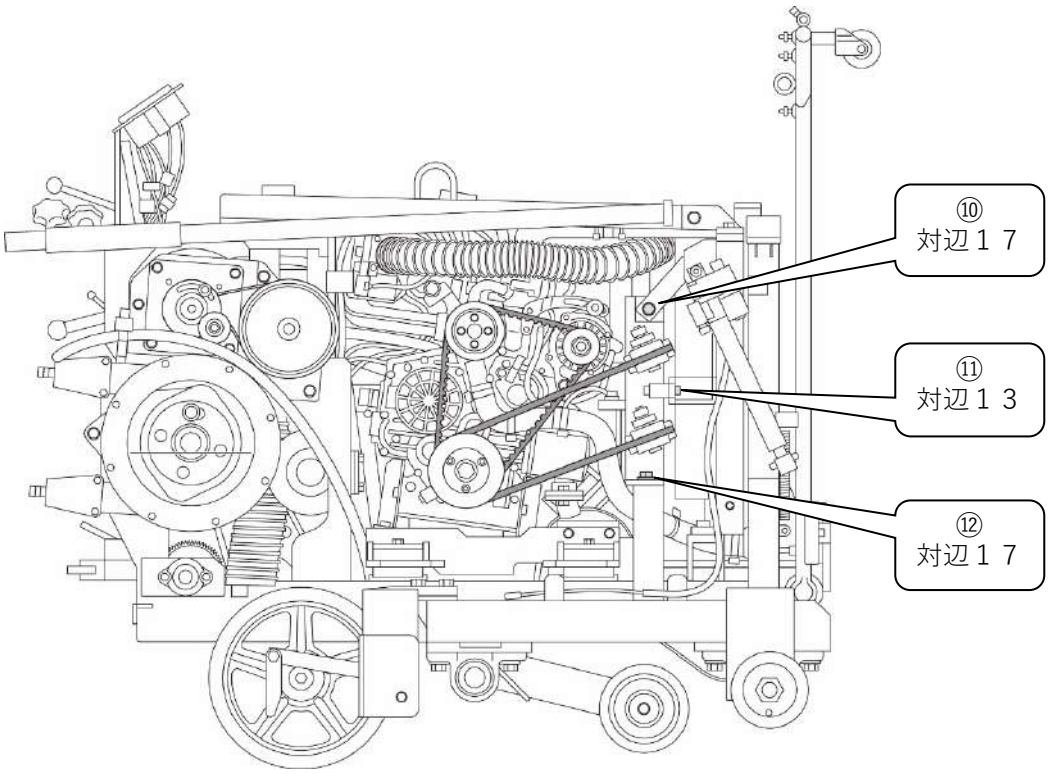
１．エンジン～ブレードシャフト，カウンターシャフト～ＨＳＴのそれぞれのベルトを外す

２．⑤のナットを緩めて、テンションプーリーをスライドさせる

３．④のボルトを外し、ベアリングケースホルダーをフリーにする

※　**取り付けの時は、④のボルトを固定してからベルトを張って下さい**



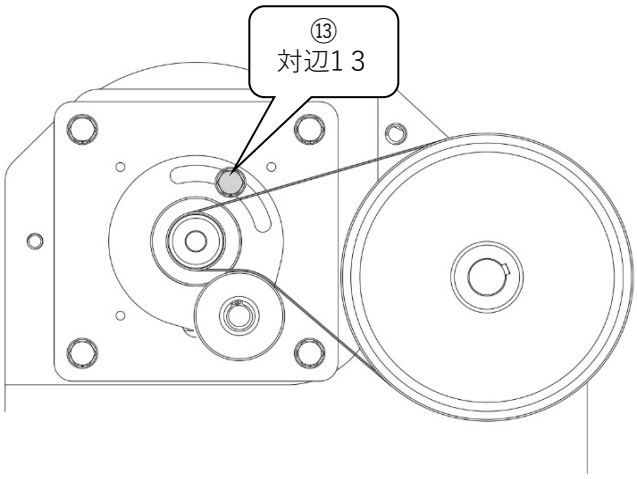


● **エンジン～ラジエターファン**

1．ＦＲＰボンネットカバーを開け、サイドカバーを外す
2．⑨を緩める
3．⑧を緩める（ファンプーリーがスライドしてベルトが緩む）
4．⑦，⑩，⑪，⑫のボルトを外す
5．手順４で外したボルト部のそれぞれの隙間を通してベルトを外す

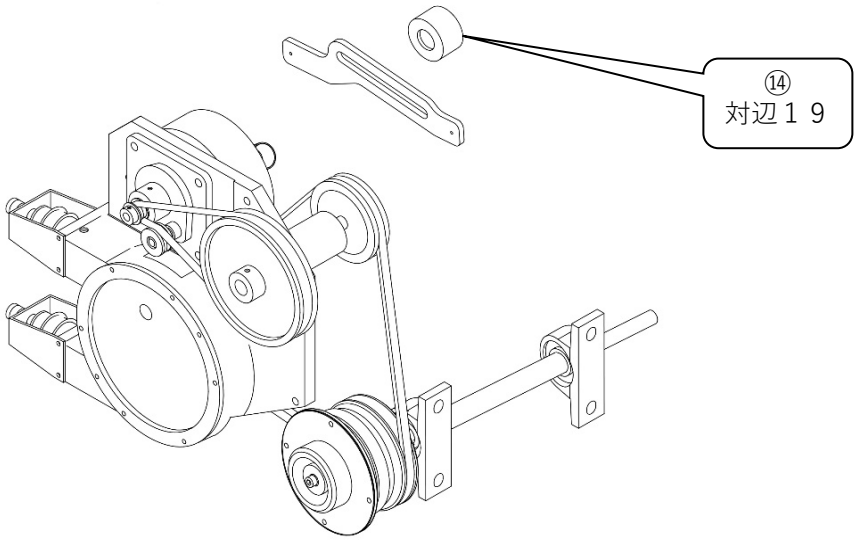
※　⑪ボルトで固定しているリンクでシュラウドとラジエターファンの隙間を調整しています。ベルト交換の場合は、このリンクを回さないで下さい。

※　シュラウドとラジエターファンが干渉する場合は、このリンクで調整します。



● **ブロアーベルト**

１．ＦＲＰサイドカバーを外す
２．⑬のボルトを緩め、テンションブラケットを回す



● **減速機～カウンターシャフト**

１．ＦＲＰリアカバーを外す
２．ポンプユニット内側、スライドプーリー部⑭のナットを緩めてプーリーをスライドさせる
３．電磁クラッチの配線端子と廻り止め金具、ダクトホースを外す
４．電磁クラッチとフレームの隙間を通してベルトを外す

１３．長期間使用しない場合

● 燃料残容量を規定給油量（給油限界位置）以下の状態にしてください。気候や気温の変化で、燃料が膨張する可能性があります。

● 機体を長期間（約１ヶ月以上）使用していない状態のまま動かすと、オイルの乾きや各部の固着などにより、機体動作に不具合が生じる恐れがあります。

＊ 週に１度、１０分～２０分程度

・ エンジン
・ 前後進
・ 油圧の昇降
・ バキューム機構

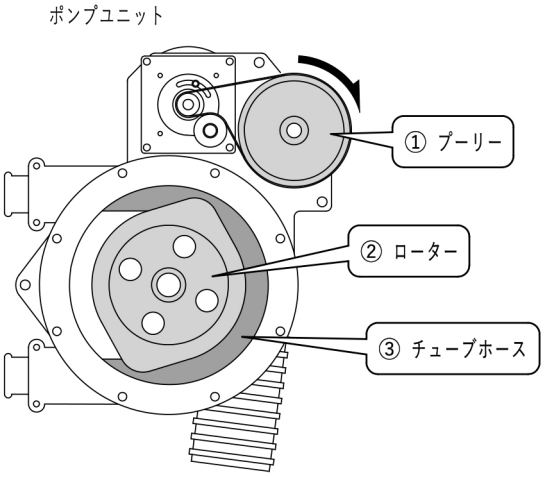
など各機構を動かし、不具合を未然に防いで下さい。

１４．長期間放置してしまった時

● **作業前点検・整備及び、バッテリーの確認を行って下さい。**

● エンジンを始動をする前に、ＦＲＰサイドカバーを外し、ポンプユニットの①プーリーを手で矢印の方向に回す。

● ①プーリーを回すと②ローターが回るので、ローターを２～３周回してチューブホースにオイルを馴染ませる。



以上の作業を行って下さい。

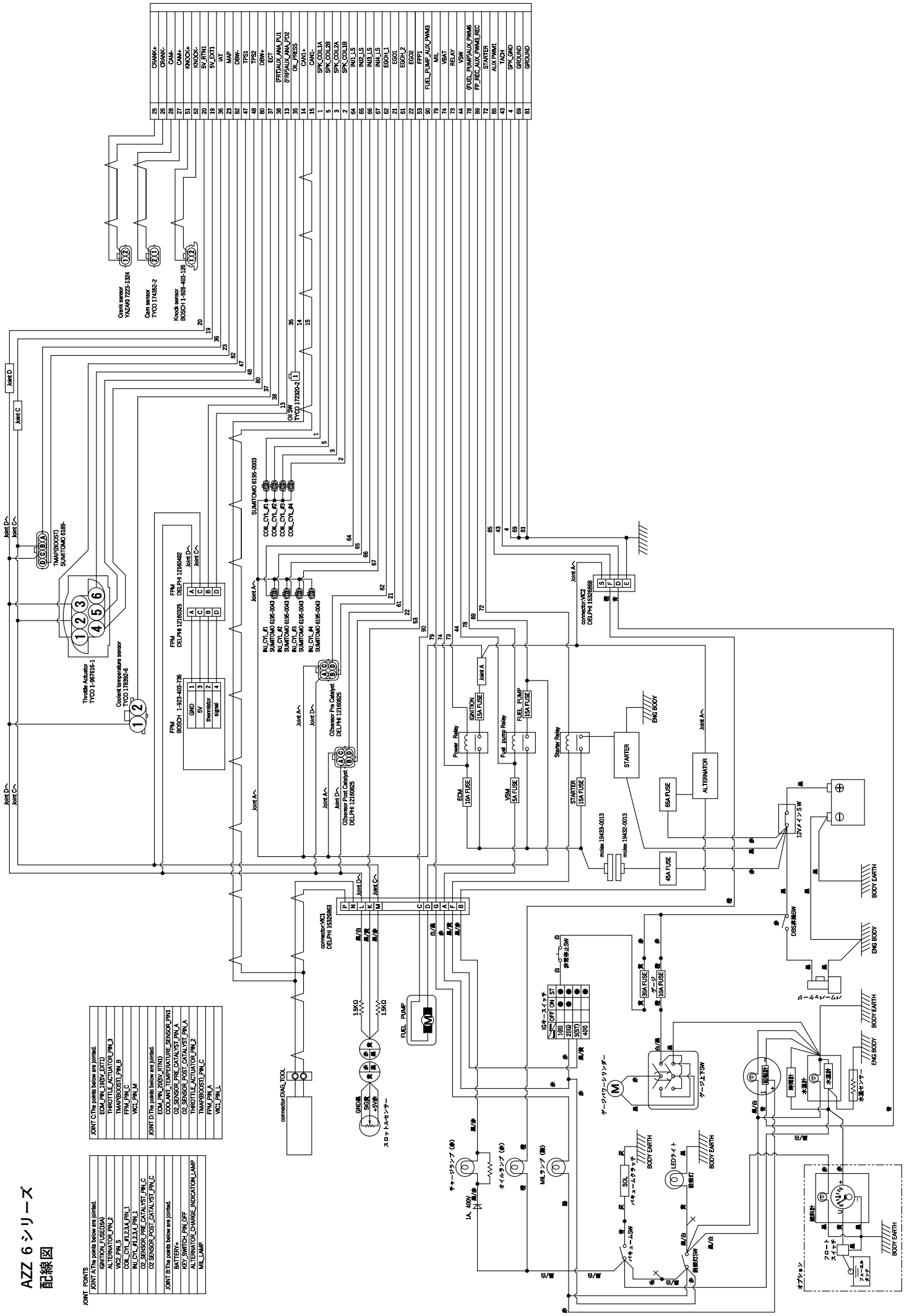
＊ その他プーリー各部は、ベルトを緩めてプーリーを手で回すなど固着がないか確認してからエンジンを始動し、本機をお使い下さい。

１５．トラブルシューティング

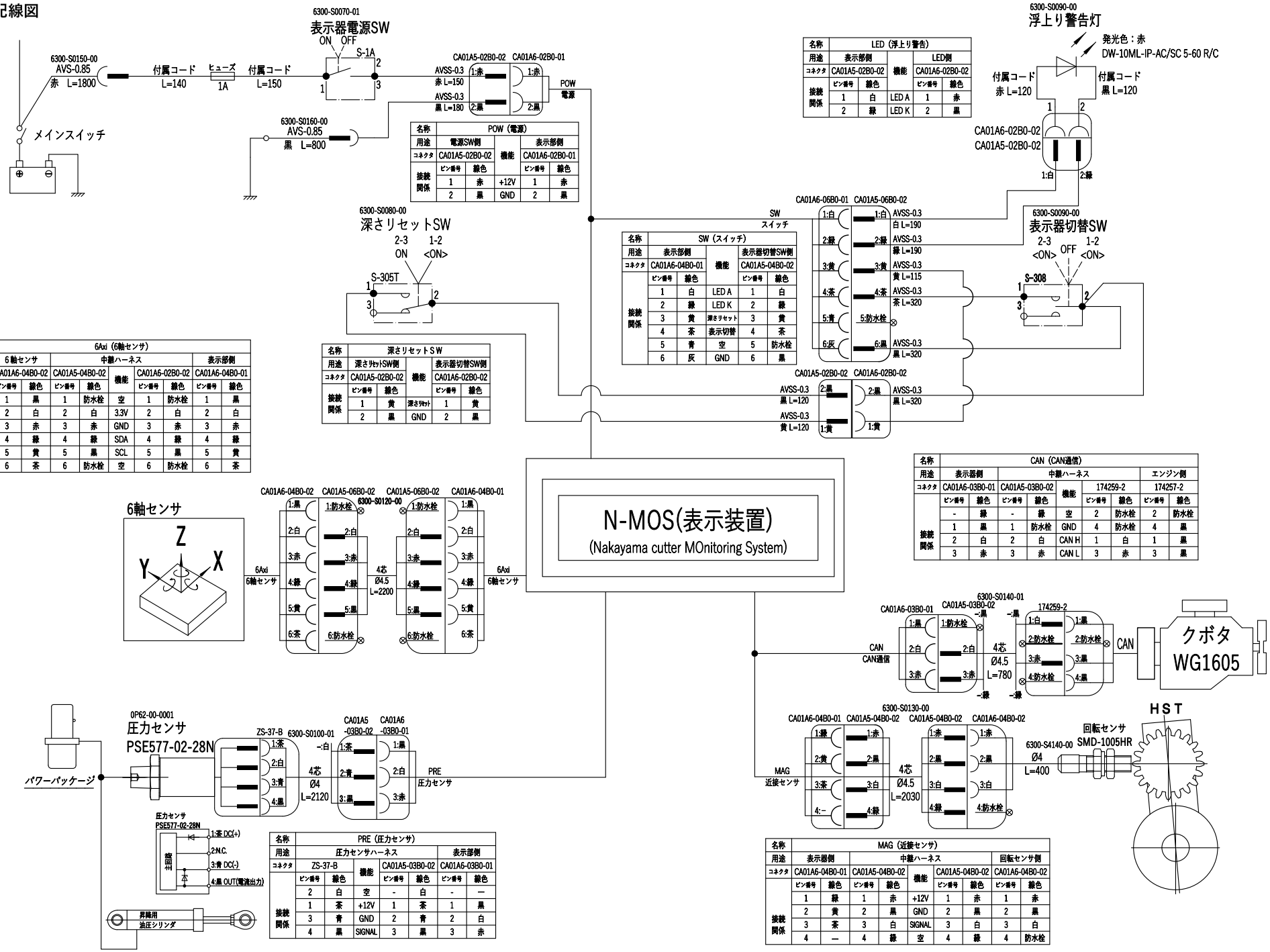
機能	現 象	原 因	処 置
バキューム	吸いが悪い	ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換
		バキュームスイッチ不良	配線確認、交換
		ブロアー不良	交換
		ブレードカバー目詰まり	掃除
		タンク蓋パッキン不良	交換
		ブロアーパッキン不良	交換
		電磁クラッチ作動不良	配線確認、交換
		ダクトホースの詰まり	掃除、交換
	オーバーフロー	スプリングホースの緩み、穴明き	増し締め、交換
		バキュームタンク目詰まり	掃除
		給水量が多い	給水量調整
	排出しない	バキュームスイッチ不良	配線確認、交換
		スプリングホースの緩み、詰まり	増し締め、交換
		バキュームタンクの目詰まり	掃除
		ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換
		電磁クラッチ作動不良	配線確認、交換
		チューブホース不良	交換
		ローター、減速器不良	交換
昇降	上がらない	バッテリー容量不足	充電、交換
		油圧スイッチ不良	当り角度調整、交換
		パッケージブロック不良	分解掃除、交換
		オイル量不足	補充
		パワーパッケージ不良	カーボンブラシもしくは全体交換
		油圧シリンダー不良	交換
		前輪アームクレビス変形	修正、交換
	下がらない	油圧シリンダー不良	交換
		パッケージブロック不良	分解掃除、交換
		前輪アームクレビス変形	修正、交換
走行	遅い又は走らない	ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換
		HSTエアー混入	油補充およびエアー抜き
		HST ON-OFF　電磁クラッチ不良	配線確認、交換
	真直ぐ走行しない	前後車軸の芯ずれ	芯出し調整
	ブレーキの効きが悪い	走行ミッションブレーキ不良	交換

機能	現 象	原 因	処 置
ゲージ	昇降しない	パワーシリンダー不良	交換
		ゲージスイッチ不良	配線確認、交換
		ヒューズ切れ	交換
		配線接触不良	嵌め合わせ確認
		バッテリー容量不足	交換
	パワーシリンダー脱落	取付け部破損	シリンダーケース交換
カップリング	頻繁に壊れる	芯合わせ不良	芯だし
電装	水温計針が動かない	水温計不良・配線不良	交換
	タコメーター針が動かない	タコメーター不良・配線不良	交換
その他	音,振動が増大した	エンジンマウント劣化	交換
		各部ベアリング劣化	グリスアップもしくは交換
		プーリー，シャフト嵌め合い不良	どちらか１方もしくは両方交換
		シャフトの劣化	交換
		フランジの劣化	傷修正もしくは交換
	切断ラインから外れる	軸受け（ピローブロック）劣化	グリスアップもしくは交換
		押し込み過多	送りスピード調整
		ブレード周速度の不適合	適切な周速に調整
		シャフト，前後車軸の芯ずれ	芯出し調整
	エンジンが掛からない	バッテリー容量不足	交換
		イグニッションキースイッチ不良	交換
		ヒューズ・リレー不良	交換
		セルモータ不良	交換
		非常停止が掛かっている	非常停止スイッチの解除
		エンジン回転数が高い	回転数をアイドリングにする
		フューエルタンク内の水を吸い上げる	フューエルタンク内の水抜き

＊ 仲山鉄工株式会社のホームページにも、トラブルシューティングや資料を掲載しています。そちらもご覧ください。


AZZ 6 シリーズ
配線図
JOINT POINTS
JOINT A:The points below are jointed.
IGNITION_FUSE(15A)
ALTERNATOR_PIN_2
VR2_PIN_S
COIL_CYL_#1,2,3,4_PIN_1
INJ_CYL_#1,2,3,4_PIN_1
O2_SENSOR_PRE_CATALYST_PIN_C
O2 SENSOR_POST_CATALYST_PIN_C
JOINT B:The points below are jointed.
BATTERY+
KEY_SWITCH_PIN_OFF
ALTERNATOR_CHARGE_INDICATION_LAMP
MIL_LAMP
JOINT C:The points below are jointed.
ECM_PIN_19(5V_EXT1)
THROTTLE_ACTUATOR_PIN_3
TMAP(BOOST)_PIN_B
FPM_PIN_C
VR1_PIN_M
JOINT D:The points below are jointed.
ECM_PIN_20(5V_RTN1)
COOLANT_TEMPERATURE_SENSOR_PIN1
O2_SENSOR_PRE_CATALYST_PIN_A
O2_SENSOR_POST_CATALYST_PIN_A
THROTTLE_ACTUATOR_PIN_2
TMAP(BOOST)_PIN_C
FPM_PIN_A
VR1_PIN_L
CRANK+
CRANK-
CAM-
CAM+
KNOCK+
KNOCK-
5V_RTN1
5V_EXT1
IAT
MAP
DBW-
TPS1
TPS2
DBW+
ECT
(FRT)AUX_ANA_PU1
(FRP)AUX_ANA_PO2
OIL_PRESS
CAN1+
CAN1-
SPK_COIL1A
SPK_COIL2B
SPK_COIL3A
SPK_COIL1B
INJ1_LS
INJ2_LS
INJ3_LS
INJ4_LS
EGOH_1
EGO1
EGOH_2
EGO2
FPP1
FUEL_PUMP_AUX_PWM3
MIL
VBAT
RELAY
VSM
(FUEL_PUMP)AUX_PWM5
FP_REC_AUX_PWM3_REC
STARTER
AUX PWM1
TACH
SPK_GND
GROUND
GROUND
Crank sensor
YAZAKI 7223-1324
Cam sensor
TYCO 1743852-2
Knock sensor
BOSCH 1-928-403-126
TMAP(BOOST)
SUMITOMO 6189-
Throttle Actuator
TYCO 1-967616-1
Coolant temperature sensor
TYCO 173932-6
FPM
BOSCH 1-928-403-736
GND
5V
thermistor signal
FPM
DELPHI 12160325
FPM
DELPHI 12160482
SUMITOMO 6195-0003
COIL_CYL_#1
COIL_CYL_#2
COIL_CYL_#3
COIL_CYL_#4
INJ_CYL_#1
INJ_CYL_#2
INJ_CYL_#3
INJ_CYL_#4
SUMITOMO 6195-0043
O2sensor Pre Catalyst
DELPHI 12160825
O2sensor Post Catalyst
DELPHI 12160825
OIL SW
TYCO 172320-2
connector:VC2
DELPHI 15326868
connector:VC1
DELPHI 15326863
connector:DIAG_TOOL
Joint A
Joint B
Joint C
Joint D
Power Relay
Fuel pump Relay
Starter Relay
IGNITION 15A FUSE
FUEL PUMP 15A FUSE
ECM 10A FUSE
VSM 15A FUSE
STARTER 15A FUSE
45A FUSE
65A FUSE
STARTER
ALTERNATOR
ENG BODY
BODY EARTH
molex 19433-0013
molex 19432-0013
12VメインSW
DBS非常SW
非常停止SW
IGキースイッチ
OFF
ON
ST
1(B)
2(IG)
3(ST)
4(R)
30A FUSE
ガージ
10A FUSE
ガージ上下SW
ガージパワーシリンダー
G-Ghost-Dst
1.5KΩ
1.5KΩ
FUEL PUMP
GND黒
5V黒
+5V黒
スロットルセンサー
チャージランプ(赤)
1A 400V
オイルランプ(赤)
MILランプ(緑)
SOL
バキュームクラッチ
バキューム上SW
LEDライト
前照灯
前照灯SW
燃料計
水温計
水温センサー
オプション
フロートスイッチ
フューエルアジア

AZZ 6シリーズ
N-MOS 配線図



名称	LED（浮上り警告）				
用途	表示部側		機能	LED側	
コネクタ	CA01A5-02B0-02			CA01A6-02B0-02	
接続関係	ピン番号	線色		ピン番号	線色
	1	白	LED A	1	赤
	2	緑	LED K	2	黒

名称	POW（電源）				
用途	電源SW側		機能	表示部側	
コネクタ	CA01A5-02B0-02			CA01A6-02B0-01	
接続関係	ピン番号	線色		ピン番号	線色
	1	赤	+12V	1	赤
	2	黒	GND	2	黒

名称	SW（スイッチ）				
用途	表示部側		機能	表示器切替SW側	
コネクタ	CA01A6-04B0-01			CA01A5-04B0-02	
接続関係	ピン番号	線色		ピン番号	線色
	1	白	LED A	1	白
	2	緑	LED K	2	緑
	3	黄	深さリセット	3	黄
	4	茶	表示切替	4	茶
	5	青	空	5	防水栓
	6	灰	GND	6	黒

名称	深さリセットSW				
用途	深さリセットSW側		機能	表示器切替SW側	
コネクタ	CA01A5-02B0-02			CA01A6-02B0-02	
接続関係	ピン番号	線色		ピン番号	線色
	1	黄	深さリセット	1	黄
	2	黒	GND	2	黒

名称	6Axi（6軸センサ）								
用途	6軸センサ		中継ハーネス					表示部側	
コネクタ	CA01A6-04B0-02		CA01A5-04B0-02		機能	CA01A6-02B0-02		CA01A6-04B0-01	
接続関係	ピン番号	線色	ピン番号	線色		ピン番号	線色	ピン番号	線色
	1	黒	1	防水栓	空	1	防水栓	1	黒
	2	白	2	白	3.3V	2	白	2	白
	3	赤	3	赤	GND	3	赤	3	赤
	4	緑	4	緑	SDA	4	緑	4	緑
	5	黄	5	黒	SCL	5	黒	5	黄
	6	茶	6	防水栓	空	6	防水栓	6	茶

名称	CAN（CAN通信）								
用途	表示器側		中継ハーネス					エンジン側	
コネクタ	CA01A6-03B0-01		CA01A5-03B0-02		機能	174259-2		174257-2	
接続関係	ピン番号	線色	ピン番号	線色		ピン番号	線色	ピン番号	線色
	-	緑	-	緑	空	2	防水栓	2	防水栓
	1	黒	1	防水栓	GND	4	防水栓	4	黒
	2	白	2	白	CAN H	1	白	1	黒
	3	赤	3	赤	CAN L	3	赤	3	黒

名称	PRE（圧力センサ）					
用途	圧力センサハーネス		機能	表示部側		
コネクタ	ZS-37-B			CA01A5-03B0-02	CA01A6-03B0-01	
接続関係	ピン番号	線色		ピン番号	線色	ピン番号	線色
	2	白	空	-	白	-	—
	1	茶	+12V	1	茶	1	黒
	3	青	GND	2	青	2	白
	4	黒	SIGNAL	3	黒	3	赤

名称	MAG（近接センサ）								
用途	表示器側		中継ハーネス					回転センサ側	
コネクタ	CA01A6-04B0-01		CA01A5-04B0-02		機能	CA01A5-04B0-02		CA01A6-04B0-02	
接続関係	ピン番号	線色	ピン番号	線色		ピン番号	線色	ピン番号	線色
	1	緑	1	赤	+12V	1	赤	1	赤
	2	黄	2	黒	GND	2	黒	2	黒
	3	茶	3	白	SIGNAL	3	白	3	白
	4	—	4	緑	空	4	緑	4	防水栓

AZZ356　切断周速目安　　プーリー比　φ75 ／ φ120

エンジン回転数 rpm	ブレード軸回転数 rpm	ブレード周速　m／min						
		１２”	１４”	１８”	２２”	２６”	３０”	３４”
2200 rpm	1375	1316	1535	**1974**	**2413**	**2851**	3290	3729
2400	1500	1436	1675	**2153**	**2632**	3110	3589	4068
2600	1625	1555	1814	**2333**	**2851**	3370	3888	4407
2800	1750	1675	**1954**	**2512**	3071	3629	4187	4745
3000	1875	1795	**2094**	**2692**	3290	3888	4486	5084
3200	2000	**1914**	**2233**	**2871**	3509	4147	4785	5423
3400	2125	**2034**	**2373**	3051	3729	4407	5084	5762
3600	2250	**2153**	**2512**	3230	3948	4666	5384	6101

（m／min）

＊ブレードメーカー推奨周速

コンクリート推奨周速（1900 ～ 2400 m／min）

アスファルト推奨周速（2500 ～ 3000 m／min）

AZZ406　切断周速目安　　Loレンジ　プーリー比 φ78 ／ φ115

エンジン回転数 rpm	ブレード軸回転数 rpm	ブレード周速　m／min							
		１２”	１４”	１８”	２２”	２６”	３０”	３４”	３８”
2200 rpm	746	714	833	1071	1309	1547	1785	**2023**	**2261**
2400	814	779	909	1168	1428	1688	**1947**	**2207**	**2467**
2600	882	844	985	1266	1547	1828	**2110**	**2391**	**2672**
2800	950	909	1060	1363	1666	**1969**	**2272**	**2575**	**2878**
3000	1017	974	1136	1461	1785	**2110**	**2434**	**2759**	3083
3200	1085	1039	1212	1558	**1904**	**2250**	**2597**	**2943**	3289
3400	1153	1104	1287	1655	**2023**	**2391**	**2759**	3127	3495
3600	1221	1168	1363	1753	**2142**	**2532**	**2921**	3311	3700

（m／min）

AZZ406　切断周速目安　　Hiレンジ　プーリー比 φ78 ／ φ115

エンジン回転数 rpm	ブレード軸回転数 rpm	ブレード周速　m／min							
		１２”	１４”	１８”	２２”	２６”	３０”	３４”	３８”
2200 rpm	1395	1335	1557	**2002**	**2447**	**2892**	3337	3782	4227
2400	1521	1456	1699	**2184**	**2669**	3155	3640	4125	4611
2600	1648	1577	1840	**2366**	**2892**	3418	3943	4469	4995
2800	1775	1699	**1982**	**2548**	3114	3681	4247	4813	5379
3000	1902	1820	**2123**	**2730**	3337	3943	4550	5157	5763
3200	2028	**1941**	**2265**	**2912**	3559	4206	4853	5501	6148
3400	2155	**2063**	**2406**	3094	3782	4469	5157	5844	6532
3600	2282	**2184**	**2548**	3276	4004	4732	5460	6188	6916

（m／min）

＊ブレードメーカー推奨周速

コンクリート推奨周速（1900 ～ 2400 m／min）

アスファルト推奨周速（2500 ～ 3000 m／min）

AZZ II 506　切断周速目安　　Loレンジ　プーリー比 φ78 ／ φ115

エンジン回転数 rpm	ブレード軸回転数 rpm	ブレード周速　m／min									
		１２”	１４”	１８”	２２”	２６”	３０”	３４”	３８”	４２”	４６”
2200 rpm	746	714	833	1071	1309	1547	1785	**2023**	**2261**	**2499**	**2737**
2400	814	779	909	1168	1428	1688	**1947**	**2207**	**2467**	**2726**	**2986**
2600	882	844	985	1266	1547	1828	**2110**	**2391**	**2672**	**2954**	3235
2800	950	909	1060	1363	1666	**1969**	**2272**	**2575**	**2878**	3181	3484
3000	1017	974	1136	1461	1785	**2110**	**2434**	**2759**	3083	3408	3733
3200	1085	1039	1212	1558	**1904**	**2250**	**2597**	**2943**	3289	3635	3981
3400	1153	1104	1287	1655	**2023**	**2391**	**2759**	3127	3495	3862	4230
3600	1221	1168	1363	1753	**2142**	**2532**	**2921**	3311	3700	4090	4479

（m／min）

AZZ II 506　切断周速目安　　Hiレンジ　プーリー比 φ78 ／ φ115

エンジン回転数 rpm	ブレード軸回転数 rpm	ブレード周速　m／min									
		１２”	１４”	１８”	２２”	２６”	３０”	３４”	３８”	４２”	４６”
2200 rpm	1395	1335	1557	**2002**	**2447**	**2892**	3337	3782	4227	4671	5116
2400	1521	1456	1699	**2184**	**2669**	3155	3640	4125	4611	5096	5581
2600	1648	1577	1840	**2366**	**2892**	3418	3943	4469	4995	5521	6047
2800	1775	1699	**1982**	**2548**	3114	3681	4247	4813	5379	5945	6512
3000	1902	1820	**2123**	**2730**	3337	3943	4550	5157	5763	6370	6977
3200	2028	**1941**	**2265**	**2912**	3559	4206	4853	5501	6148	6795	7442
3400	2155	**2063**	**2406**	3094	3782	4469	5157	5844	6532	7219	7907
3600	2282	**2184**	**2548**	3276	4004	4732	5460	6188	6916	7644	8372

（m／min）

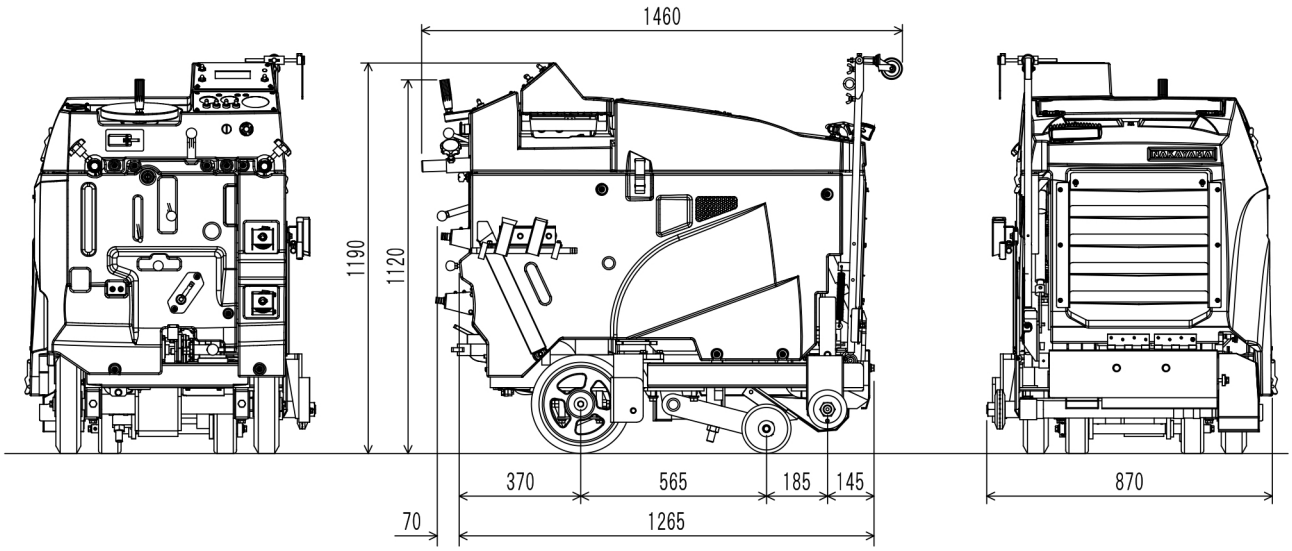
＊ブレードメーカー推奨周速

コンクリート推奨周速（1900 ～ 2400 m／min）

アスファルト推奨周速（2500 ～ 3000 m／min）

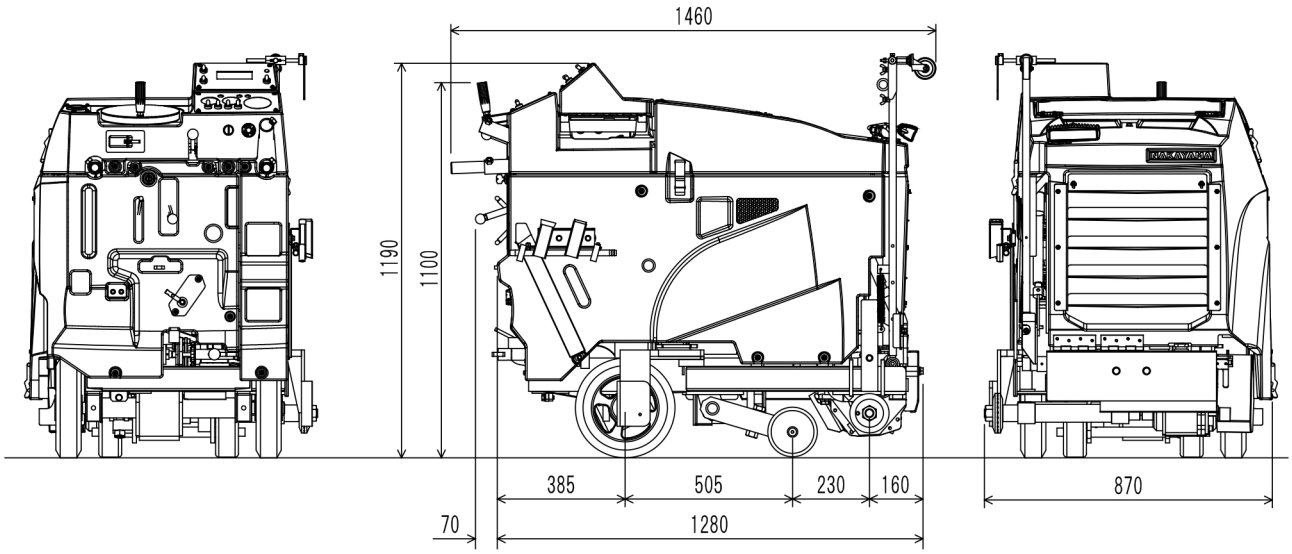
AZZ 356　仕様書

型式	AZZ 356
エンジン	Kubota WG1605　1537cc　水冷直列４気筒 電子制御燃料噴射方式
最大出力	42.5KW（57PS）／3600min^{-1}
連続定格出力	30.2KW（41.5PS）／2400min^{-1}
本体サイズ	1460L×870W×1190H（ｍｍ）
重量	635kg
最大切断深さ	350ｍｍ
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整
	前進：切断0～1km／h　廻送：0～4km／h 後進：切断0～0.5km／h　廻送：0～1.5km／h
バキュームユニット	吸気量：2.0m^3／min　　排水ポンプ排出量：9L／min
燃料タンク	14.2ℓ
ブレードカバー	12"，14”，18”，22”，26”，30”，34”



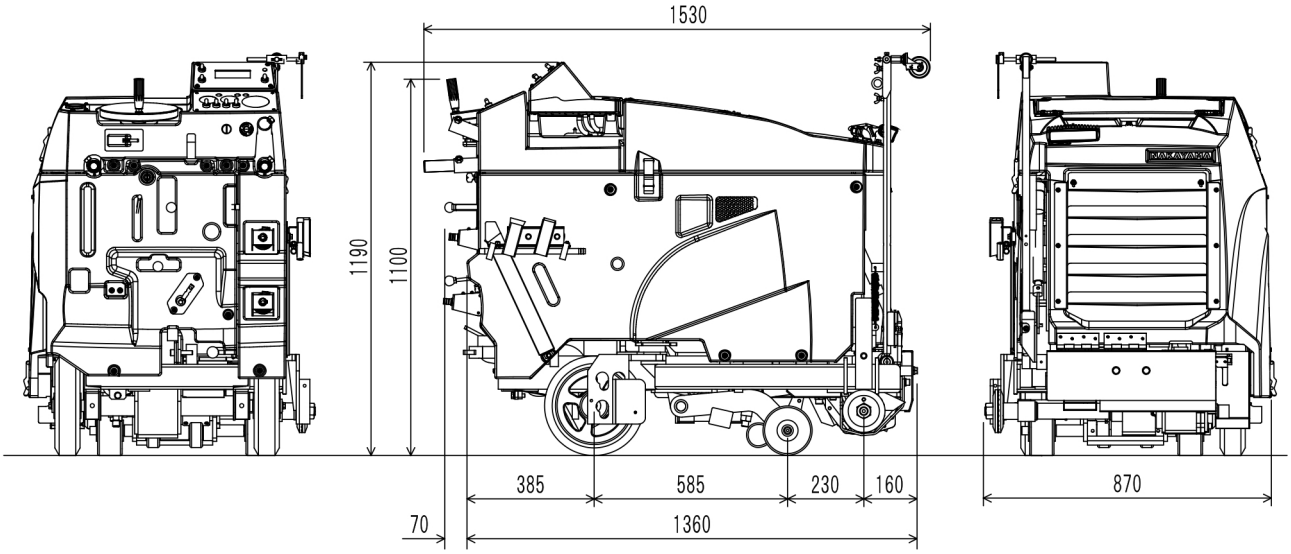
AZZ 406　仕様書

型式	AZZ 406
エンジン	Kubota WG1605　1537cc　水冷直列４気筒 電子制御燃料噴射方式
最大出力	42.5KW（57PS）／3600min^{-1}
連続定格出力	30.2KW（41.5PS）／2400min^{-1}
本体サイズ	1460L×870W×1190H（ｍｍ）
重量	671kg
最大切断深さ	400ｍｍ
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整
	前進：切断0～1km／h　廻送：0～4km／h 後進：切断0～0.5km／h　廻送：0～1.5km／h
バキュームユニット	吸気量：2.0m^3／min　　排水ポンプ排出量：9L／min
燃料タンク	14.2ℓ
ブレードカバー	12"，14”，18”，22”，26”，30”，34”，38”



AZZⅡ 506　仕様書

型式	AZZⅡ 506
エンジン	Kubota WG1605　1537cc　水冷直列４気筒 電子制御燃料噴射方式
最大出力	42.5KW（57PS）／3600min^{-1}
連続定格出力	30.2KW（41.5PS）／2400min^{-1}
本体サイズ	1530L×870W×1190H（ｍｍ）
重量	705kg
最大切断深さ	500ｍｍ
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整
	前進：切断0～1km／h　廻送：0～4km／h 後進：切断0～0.5km／h　廻送：0～1.5km／h
バキュームユニット	吸気量：2.0m^3／min　　排水ポンプ排出量：9L／min
燃料タンク	14.2ℓ
ブレードカバー	12", 14”, 18”, 22”, 26”, 30”, 34”, 38”, 42”, 46”



仲山鉄工株式会社

〒426-0055
静岡県藤枝市大西町３丁目14-1

TEL：054(635)1383
FAX：054(635)0418
URL：http://www.nakayama-azz.co.jp
E-mail：info@nakayama-azz.co.jp